



AVer FD1020

取扱説明書

目次

はじめに.....	1
製品仕様.....	1
パッケージの内容.....	5
製品インストール.....	6
監視設定.....	6
ハードウェアの設置と I/O ピンの割り当て.....	7
PoE(イーサネットによる電源供給).....	13
IP ASSIGNMENT (IP 割り当て).....	14
「NXU LITE: IP 映像マネジメント・ソフトウェア」を使用して IP アドレスを割り当てる.....	14
“AVer IP カメラ ユーティリティ”を使い IP カメラを検索する.....	18
DHCP 以外のサーバー/ルータネットワークを使用する.....	20
ActiveX コントロールのインストール.....	22
IP カメラブラウザインターフェースを使用する.....	24
プレビュー.....	24
SYSTEM (システム) > GENERAL (一般).....	27
SYSTEM (システム) > GENERAL (一般) > MAINTENANCE (メンテナンス).....	27
IP カメラのファームウェアをアップグレードする.....	28
SYSTEM (システム) > GENERAL (一般) > DATE & TIME (日付と時刻).....	29
SYSTEM (システム) > USER MANAGEMENT (ユーザー管理).....	30
SYSTEM (システム) > USER MANAGEMENT (ユーザー管理) > ACCOUNT (アカウント).....	30
SYSTEM (システム) > NETWORK SETTING (ネットワーク設定)>SETTING (設定).....	32
SYSTEM (システム) > NETWORK SETTING (ネットワーク設定)>SERVER (サーバー).....	33
SYSTEM (システム) > NETWORK SETTING (ネットワーク設定)>DDNS.....	34
SYSTEM (システム) > NETWORK SETTING (ネットワーク設定)>OTHER 1 (その他 1).....	36

SYSTEM(システム) > NETWORK SETTING(ネットワーク設定)>OTHER 2(その他 2)	38
SYSTEM(システム) > NETWORK(ネットワーク設定) > IPV6(IPv6)	42
SYSTEM(システム) > ADVANCE(詳細設定) > HTTPS	43
SYSTEM(システム) > ADVANCE(詳細設定) > SNMP	45
SYSTEM(システム) > ADVANCE(詳細設定) > ACCESS LIST(アクセス・リスト)	47
SYSTEM(システム) > ADVANCE(詳細設定) > QoS/DSCP	48
SYSTEM(システム) > IMAGE(画像)	49
SYSTEM(システム) > IMAGE(画像) > OSD	49
SYSTEM(システム) > IMAGE(画像) > PREFERENCE(プリファレンス)	50
SYSTEM(システム) > IMAGE(画像) > ADVANCED(拡張)	51
SYSTEM(システム) > IMAGE(画像) > PRIVACY MASK(プライバシーマスク)	53
SYSTEM(システム) > VIDEO STREAM(ビデオストリーム) > GENERAL(一般)	54
SYSTEM(システム) > VIDEO STREAM(ビデオストリーム) > STREAM1(ストリーム 1)	54
SYSTEM(システム) > VIDEO STREAM(ビデオストリーム) > STREAM2(ストリーム 2)	56
SYSTEM(システム) > VIDEO STREAM(ビデオストリーム) > STREAM3(ストリーム 3)	58
SYSTEM(システム) > AUDIO(オーディオ)	59
SYSTEM(システム) > SD CARD(SD カード)	60
EVENT(イベント) > ARRANGEMENT(アレンジメント) > MOTION(モーション)	61
EVENT(イベント) > ARRANGEMENT(アレンジメント) > PREFERENCE(プリファレンス)	62
EVENT(イベント) > SCHEDULE(スケジュール)	63
ステータス情報	67
ネットワーク構成	68
工場出荷時設定への初期化	70
トラブルシューティング	71
付録	72
FCC(米国連邦通信委員会)に関する通知(クラス A)	73

著作権について.....	74
保証の制限.....	75

はじめに

FD1020 は内蔵 Web サーバーを持つ 1/4 インチの Mega-Pixel CMOS センサー IP カメラです。ユーザーは、IE ブラウザーでリアルタイム ビデオを閲覧できます。H.264 および M-JPEG ビデオ圧縮をサポートし、滑らかで高品質のビデオを提供します。ビデオは Micro SD カードに保存してリモートで再生できます。ユーザー フレンドリーなインターフェイスで、セキュリティ アプリケーションに使いやすい IP カメラです。

製品仕様

- リアルタイム HD 720P
- デジタル ワイド ダイナミック レンジ
- 調整可能なシャッター速度
- 3D+2D デジタル ノイズ 抑制
- 調節可能な感度アップ
- 日中と夜間の手動スイッチ時間制御
- Power over Ethernet
- 組み込み IR LED、5M 利用可能
- 双方向オーディオ
- H.264/ M-JPEG 圧縮
- Micro SD カード バックアップ (オプション)
- iPhone/Android/Mac のサポート
- ソフトウェア統合用の SDK
- 32CH レコーディング ソフトウェアの無料バンドル

仕様

ハードウェア	
CPU	マルチメディア SoC
RAM	128MB
Flash	16M
Image sensor	1 / 4 インチ Mega-Pixel CMOS センサー
レンズ タイプ	2.8mm @ F1.8
画角	74.1°(H), 48.9°(V)
最低照度	色: 0.3 Lux (IR LED ON) B / W: 0 Lux (IR LED ON)
ICR	機械式 IR カット・フィルター
オーディオ入力/出力	オーディオ圧縮方式 G.711(64K)、G.726(32K,24K) 入力: 内蔵マイク 出力: External ライン出力
赤外線距離	5 メートル
イーサネットによる電源供給(PoE)	対応
消費電力	DC 12V 最大: 2.52W(赤外線 LED 点灯時); 1.92W 赤外線 LED 消灯時) PoE 最大: 802.3af, 3.36W (赤外線 LED 点灯時); 2.88W 赤外線 LED 消灯時)
動作温度	0° C ~ 45° C
寸法	100mm (∅) x 49mm (H)
重量	180g
ネットワーク	
イーサネット	10/ 100 Base-T
ネットワークプロトコル	IPv6, IPv4, HTTP, HTTPS, SNMP, QoS/DSCP, Access list, RTSP, TCP/ IP, UDP, SMTP, FTP, PPPoE, DHCP, DDNS, NTP, UPnP, 3GPP, SAMBA, Bonjour

システム	
ビデオ解像度	1280x800@30fps, 1280x720@30fps , 800x600@30fps, 640x480@30fps, 320x240@30fps, 176x144@30fps
ビデオ調整	輝度、コントラスト、色合い、彩度、鮮明さ、AGC、シャッター 時間、感度アップ、D-WDR、レンズゆがみ修正、反転、鏡、日 中と夜間の調整可能、色レベル調整(赤、青)、ノイズ除去 アンチフォグ(霧対策機能)
トリプルストリーミング	あり
画像スナップショット	あり
全画面監視	あり
プライバシーマスク	あり、5 箇所
圧縮形式	H.264/ M-JPEG
ビデオビットレート調整	CBR, VBR
モーション検出	あり、3 箇所
イベントアクション	メール、FTP、microSDHC カードへ保存、リレー、Samba、DO
アラーム前/アラーム後録画	あり、(アラーム発生の 5 秒前/10 秒後)
セキュリティ	パスワード保護、IP アドレス・フィルタリング、HTTPS 暗号化通 信、QoS/DSCP
ファームウェア・アップグレード	HTTP モード、リモートでアップグレード可能
同時接続	最大 10
オーディオ	あり、双方向(モノラル)
Micro SD カード管理	
録画開始条件	モーション検出、IP チェック、ネットワーク機能停止(有線接続 時のみ)、スケジュール、DI
動画形式	AVI, JPEG
動画再生	あり
ファイル削除	あり

Web ブラウズ要件	
OS	Windows 7, XP Microsoft® IE 8.0 以上 【注】IE 10 以上を使用して「互換表示」を有効にしてください。
モバイル・コントロール・サポート	iOS 4.3 以上、Android 1.6 以上
ハードウェア	Intel Dual Core 2.53G RAM: 1024MB グラフィック カード: 128MB

***仕様・性能は、予告なく変更する場合があります。**

パッケージの内容

アイテム	説明
	1. FD1020
	2. 電源アダプタ (オプション)
	3. ウォール プラス
	4. ネジ
	5. CDタイトル(ユーザー・マニュアル、クイック・ガイド、 IPインストール・ユーティリティ)

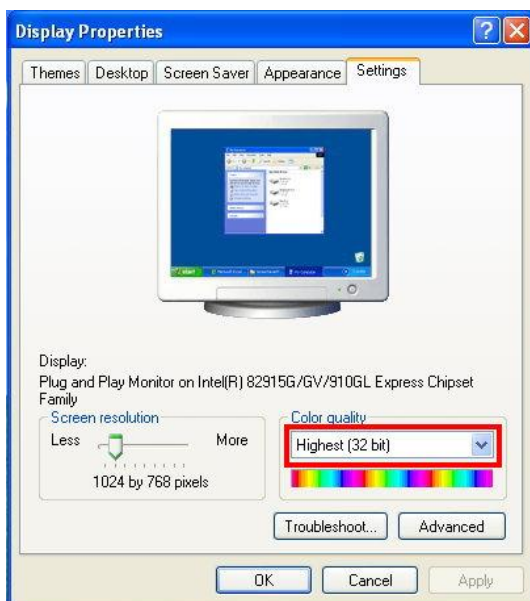
製品インストール

監視設定

1. デスクトップで右クリックします。「**Properties(プロパティ)**」を選択します。

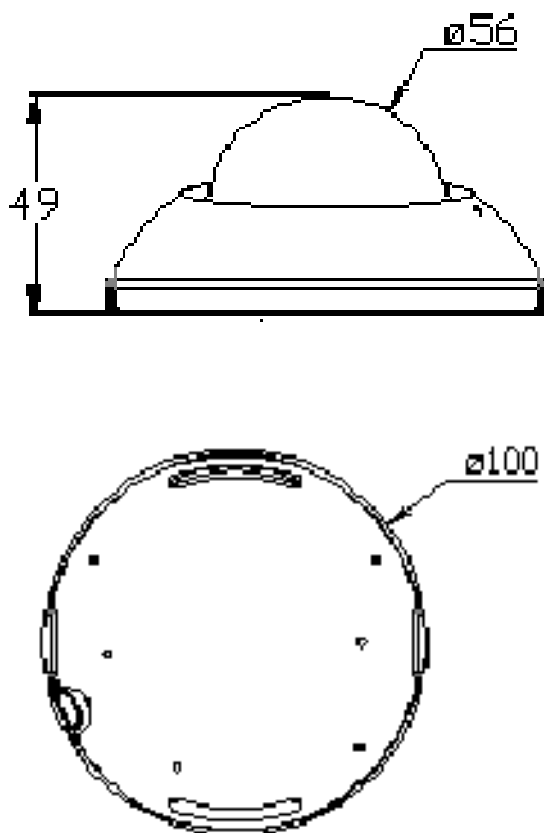


2. Color quality(画面の色)を最高(32ビット)に変更します。



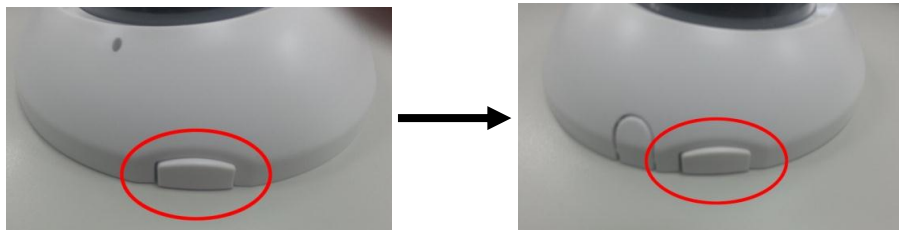
ハードウェアの設置と I/O ピンの割り当て

1. 製品概要



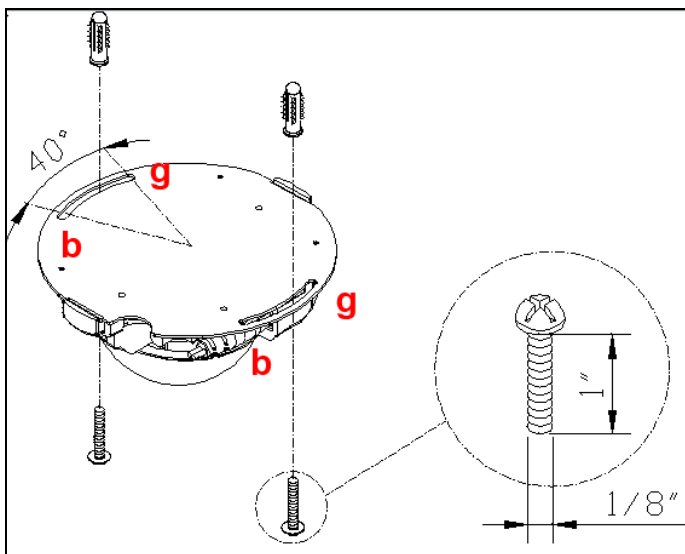
2. 設置

- a. 次の写真に示すように、両脇を押してカメラ カバーを開けます。

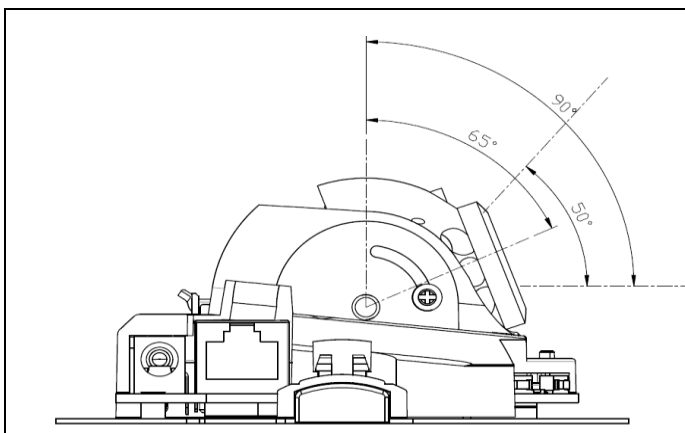


- b. ネジでカメラを天井または壁に取り付けます。

[注] あとでレンズ角度の調整が必要になる場合があるので、ネジをきつく締めないようにしてください。

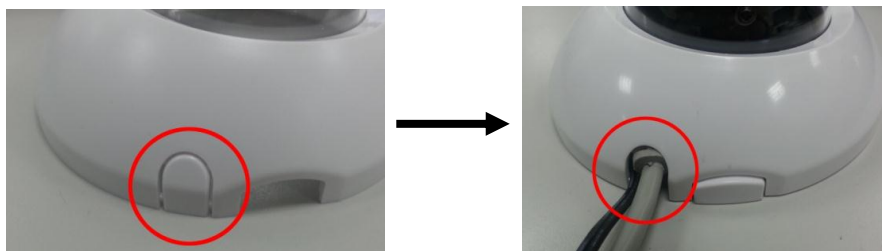


- c. レンズのネジを緩めて角度を調節します。



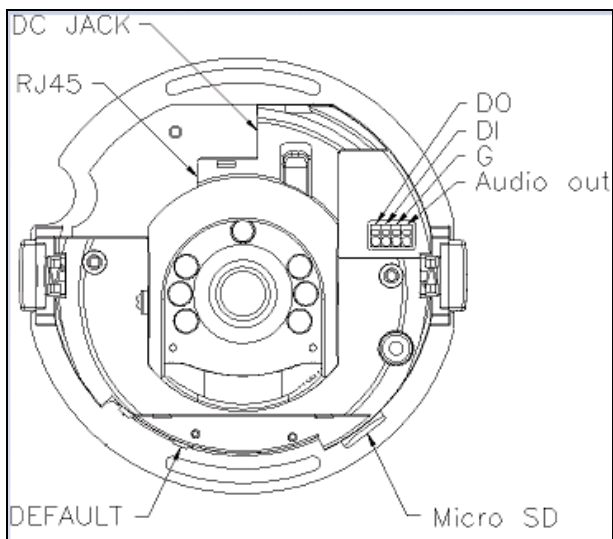
- d. レンズを調整したら、ネジをしっかりと締めます。設置が完了するまで、必要に応じて手順 b と c を繰り返します。

- e. Ethernet と電源アダプタを接続します。
- f. カバーの穴を注意して開け、Ethernet と電源アダプタを差し込みます。



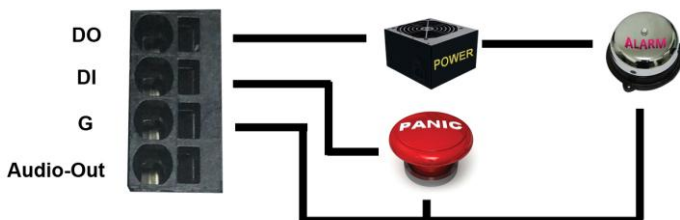
- g. 手順 b と c が完了したら、ネジをしっかりと締めてカメラを天井または壁に固定します。
- h. カメラ カバーを閉じます。

3. コネクタの説明

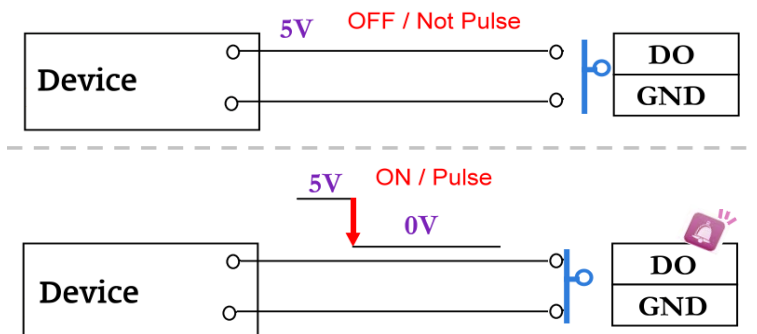


4. I/O 構成

- G (GND)** と **DO** ピンを外部リレー（ブザー）デバイスに接続します。
- G (GND)** と **DI** ピンを外部トリガー デバイ스에接続します。

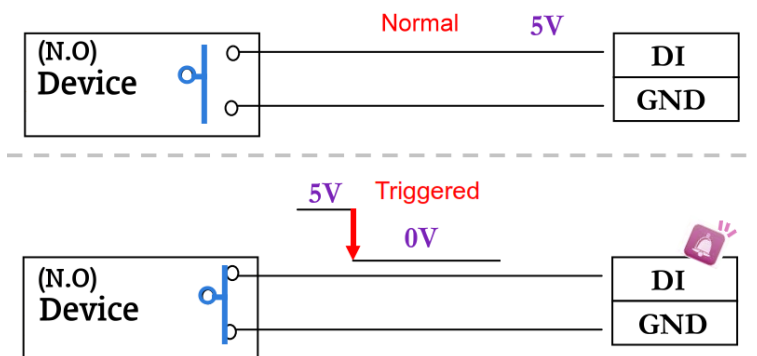


イベントが発生しないときは、DO 出力は 5V (DO と GND は切断) です。カメラがイベントを検出すると、外部アラームを作動させ、DO 出力は 0V (DO と GND が接続) になります。



「**入力センサー設定**」で **[N.O]** を選択すると、スイッチ コンタクトが開いたときに、カメラ入力アラームがトリガーされ、メール アドレスにスナップショットを送信するなどの、ユーザー設定アクションが実行されます。

【入力センサー設定】で【N.C】を選択すると、スイッチ コンタクトが閉じたときに、カメラ入カアラームがトリガーされ、メール アドレスにスナップショットを送信するなどの、ユーザー設定アクションが実行されます。



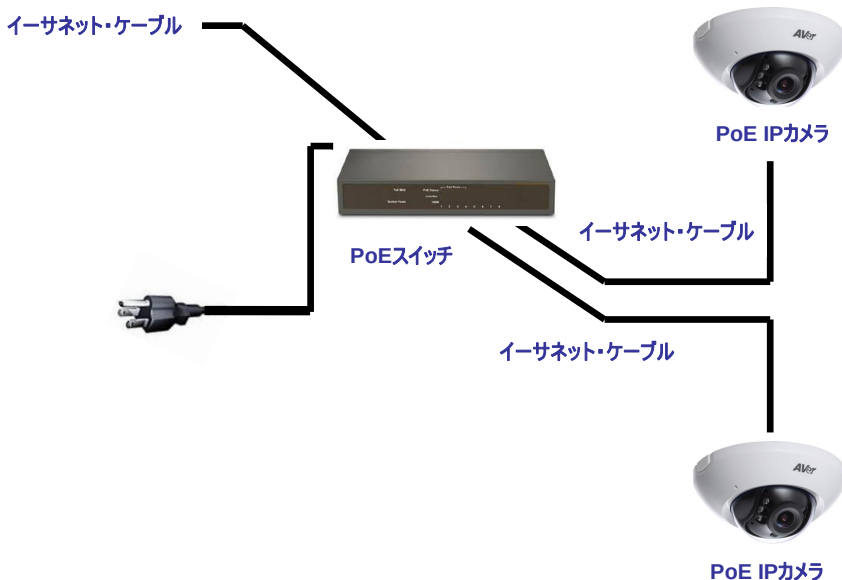
c. I/O PIN 定義

- GND (接地): 初期状態は LOW
- DO (デジタル出力): DC 5V
- DI (デジタル入力): 最大 50mA、DC 5V

PoE（イーサネットによる電源供給）

PoE（イーサネットによる電源供給）は、標準 LAN インフラストラクチャに電力を統合する技術です。ネットワーク接続に利用されるケーブルと同じケーブルを利用して、IP 電話やネットワークカメラなど、ネットワーク機器に電力を供給することができます。カメラの場所にコンセントを設置する必要がなく、無停電電源装置（UPS）の導入も簡単です。週 7 日、1 日 24 時間の無停電監視を実現します。

[注記] 802.3af、15.4W PoE スイッチを推奨します。



IP Assignment (IP 割り当て)

IP カメラの検出方法は 2 つあります。

- 「NXU Lite IP 映像マネジメント・ソフトウェア」を使用して IP カメラを検出する。
- 「IP インストーラ」を使用して IP カメラを検出する。

「NXU Lite: IP 映像マネジメント・ソフトウェア」を使用して IP アドレスを割り当てる

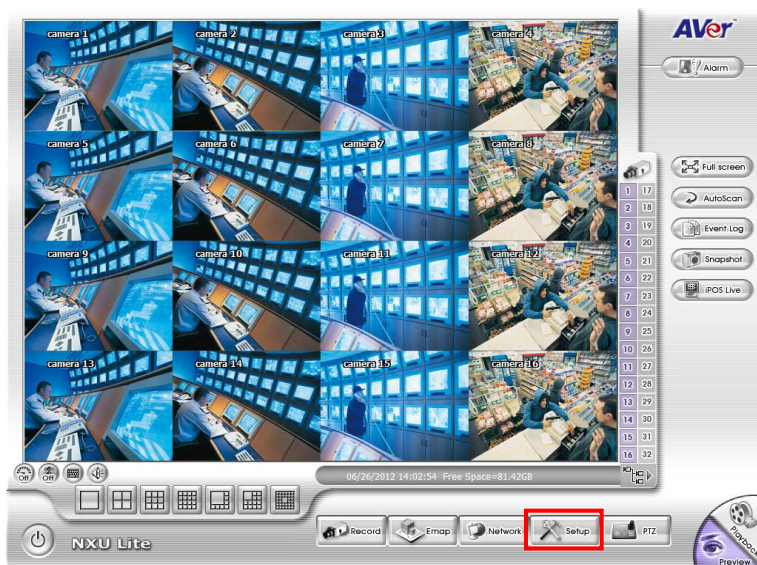
1. NXU Lite ソフトウェアは、付属ソフトウェア CD 内に含まれています。起動する前に、まずソフトウェアをインストールしてください。インストール・プロセスの際、ユーザーは NXU Lite システムにログインするため、ユーザー名とパスワードを入力する必要がありますので、好きなユーザー名とパスワードをご利用ください。このソフトウェアのインストールに関する詳細な情報は、NXU Lite ユーザー・マニュアルを参照してください。
2. アプリケーションを実行するには、お使いの PC デスクトップで  をダブル・クリックするか、[スタート] > [プログラム] > [DVR] > [NXU Lite] をクリックします。セキュリティの観点から、一部の機能ではアクセスする前にユーザー名とパスワードの入力を求められる場合があります。[Authorization (認証)] ダイアログボックスが表示されたら、インストール時に登録したユーザーID およびパスワードを入力してください。



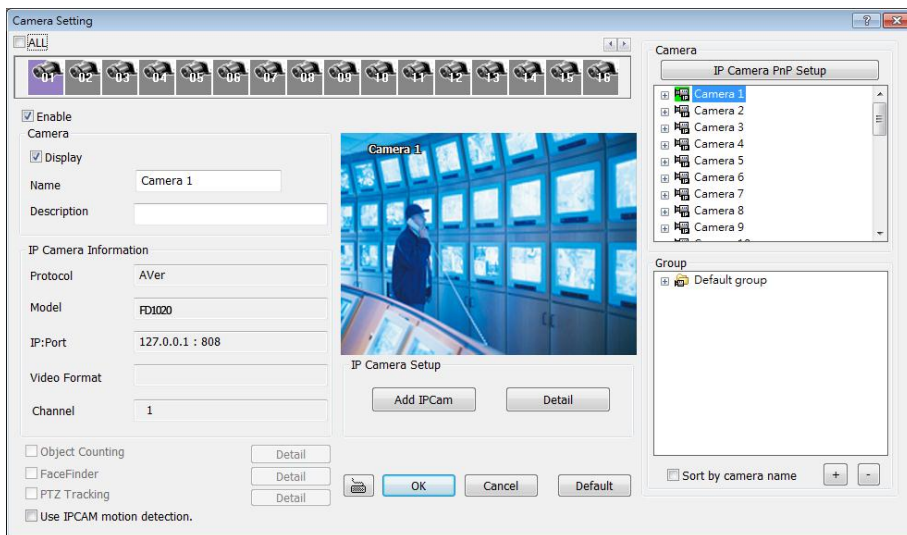
The image shows a dialog box titled "Authorization". Inside, it says "Please enter your user ID and password." There are two input fields: "User ID" and "Password". At the bottom, there are "OK" and "Cancel" buttons. A red square highlights a small icon of a keyboard in the bottom right corner of the dialog box.

ここをクリックするとバーチャル
キーボードが表示されます。

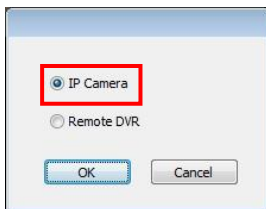
3. [Setup (設定)] ボタンをクリックします。



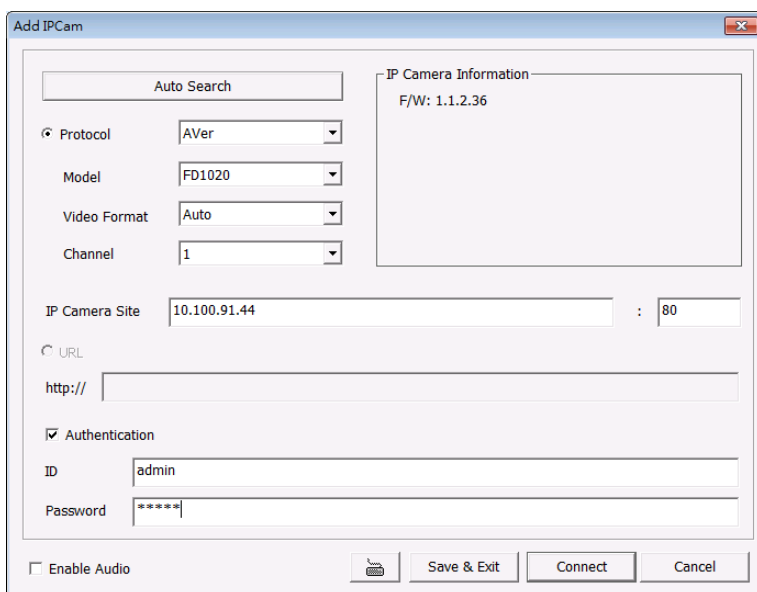
4. [Add IPCam (IP カメラ を追加)] ボタンをクリックします。



5. **[IP Camera (IP カメラ)]** アイテムをクリックします。



6. IP カメラの ID とパスワード(デフォルトは **admin/admin**)を入力し、**[Auto Search (自動検索)]** をクリックしてカメラを検出します。



Add IPCam

Auto Search

☒ Protocol: AVer
Model: FD1020
Video Format: Auto
Channel: 1

IP Camera Site: 10.100.91.44 : 80

☐ URL
http://

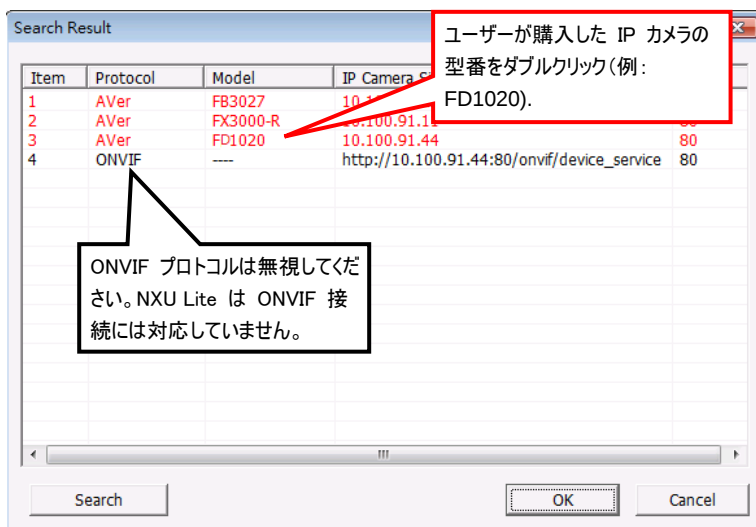
☒ Authentication
ID: admin
Password: *****

☐ Enable Audio

IP Camera Information
F/W: 1.1.2.36

Buttons: Save & Exit, Connect, Cancel

7. [Search Result(検索結果)] ウィンドウ内の赤字で表示されたカメラから、購入された IP カメラの型番をダブルクリックしてください(**ONVIF 接続アイテムはクリックしないでください**)。IP カメラが同じ IP セグメント内にない場合でも IP カメラの設定を構成できます。[OK]をクリックして、前の画面に戻るか、[Connect(接続)] を押してライブビューを開始します。



“AVer IP カメラ ユーティリティ”を使い IP カメラを検索する

1. “AVer IP カメラ ユーティリティ”ソフトウェアを使用し、IP カメラの IP アドレスを割り当てます。ソフトウェアは付属の CD に入っています。
2. IP カメラ ユーティリティを起動します。
3. 適切なネットワークアダプタを選択し、[Search] をクリックして検索を開始します。

AVer IPCam Utility v1.1.0.13

Search Result

Model Name	Device Name	IPv4 Address	MAC Address	FW version	IPv6 Address
------------	-------------	--------------	-------------	------------	--------------

Network Device: (R) PRO/1000 PL Network Connector

Search

Progress

Login

User ID

Password

Settings

Device Name:

IP Address:

Subnet Mask:

Gateway:

Primary DNS:

Secondary DNS:

☐ DHCP

☐ Static IP

*Auto search will start after settings changed!

☐ Don't start auto search this time!

Apply

4. 選択後にダブルクリックすることで IP カメラにアクセスできます。設定変更の必要がある場合は、IP カメラを選択し、ユーザー ID やパスワードの入力、設定内容を変更して、[Apply] をクリックします。これにより、設定は変更され、ネットワークを再スキャンします。

AVer IPCam Utility v1.1.0.13

Search Result

Model Name	Device Name	IPv4 Address	MAC Address	FW version	IPv6 Address
FV2006-1	FD1020	192.168.107.103:80	00:18:1a:0c:e3:26	V1.0.17	[fe80::218:1...

Network Device: Intel(R) PRO/1000 PL Network Connector

Search

Progress

Login

User ID

Password

Settings

Device Name:

IP Address:

Subnet Mask:

Gateway:

Primary DNS:

Secondary DNS:

☐ DHCP

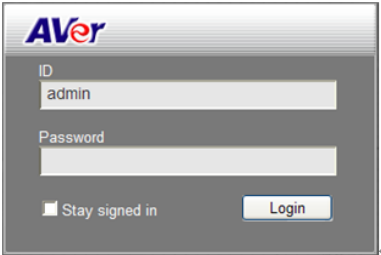
☒ Static IP

*Auto search will start after settings changed!

☐ Don't start auto search this time!

Apply

5. IE ブラウザが開き、IP カメラのログインページへ移動します。なお、IPViewer.ocx の実行が必要です。IE の ActiveX 警告メッセージが表示されたら、アドオンを実行できるようクリックします。



Default ID : admin
Password : admin

【注記】

- デフォルト IP アドレス: 192.168.1.168
- デフォルト ID 及びパスワードは共に“admin”です。
- デバイス名に漢字及びその他の特殊な記号(` ` ¥ & ^)を使うことは出来ません。
- ゲートウェイナンバーに“0”を使うことは出来ません。
- IP カメラのデバイス名は 30 文字以内として下さい。

DHCP 以外のサーバー/ルータネットワークを使用する

DHCP 以外のサーバー/ルータネットワークでは、他の IP カメラをネットワークに追加する度に、静的 IP アドレスをデバイスに割り当てる必要があります。現在のカメラのデフォルト IP アドレスを変更して、競合を防止します。

PC IP アドレスのサブネットと IP CAM IP アドレスのサブネットが同じになるようにしてください。

【例】

同じサブネット:

IP CAM IP アドレス: 192.168.1.168

PC IP アドレス: 192.168.1.100

異なるサブネット:

IP CAM IP アドレス: 192.168.1.168

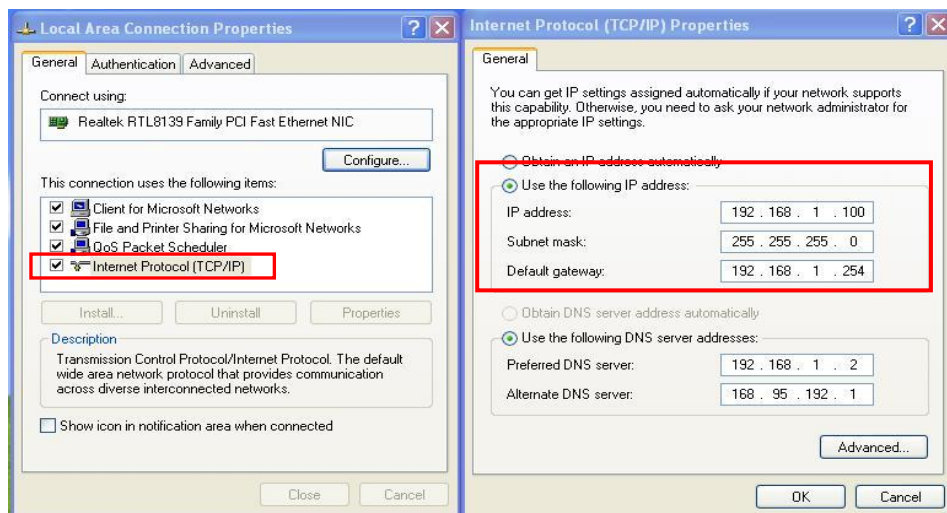
PC IP アドレス: 192.168.2.100

PC IP アドレスを変更するには:

Control Panel (コントロール・パネル) → Network Connections (ネットワーク設定) → Local Area Connection Properties (ローカルエリア接続プロパティ) → Internet Protocol (TCP/IP) (インターネットプロトコル(TCP/IP)) → Properties (プロパティ)

IP カメラと PC のサブネットが同じになっていることを確認してください。異なっている場合は、IP カメラのサブネットか PC IP のサブネットを適宜変更してください。

PC の IP アドレス:



IP カメラの IP アドレス:

Model Name	Device Name	IPv4 Address	MAC Address	FW version	IPv6 Address
FV2006-1	FD1020	192.168.107.103:80	00:18:a0:c0:03:26	V1.0.17	fe80::218:1...

Network Device: Intel(R) PRO/1000 PL Network Connec

Search

Progress

Login

User ID

Password

Settings

Device Name: FV2006-1

IP Address: 192 . 168 . 107 . 103

Subnet Mask: 255 . 255 . 255 . 0

Gateway: 192 . 168 . 107 . 254

Primary DNS: 168 . 95 . 1 . 1

Secondary DNS: 168 . 95 . 192 . 1

Static IP

Apply

簡単に遠隔監視画面に接続するには、AVer IP カメラ ユーティリティの“カメラ ネーム リスト”の中の IP カメラを選択して、ダブルクリックします。IE ブラウザは自動的に開き IP カメラに接続します。

次に、デフォルトのユーザー名「**admin**」を入力します。パスワードは「**admin**」です。

AVer

ID:

Password:

Login

Copyright © 2012 AVer Information Inc. All rights reserved.

ActiveX コントロールのインストール

初めて IE を介してカメラの動画を見るときには、ActiveX コンポーネントのインストールが必要です。

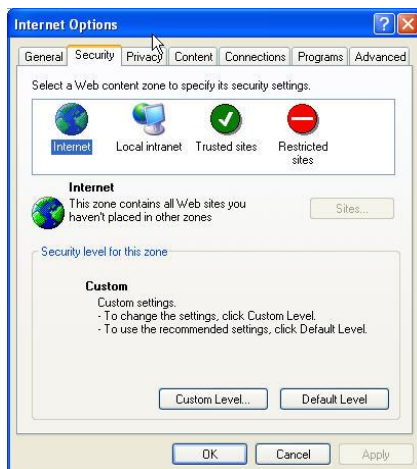
インストールに失敗した場合は、IE ブラウザのセキュリティ設定を確認してください。

1. IE → Tools(ツール) → Internet Options…(インターネットオプション…) → Security(セキュリティ)タブ → Custom Level…(レベルのカスタマイズ…) → Security Settings(セキュリティ設定) → Download unsigned ActiveX controls(未署名の ActiveX コントロールのダウンロード) → 「Enable(有効にする)」または「Prompt(ダイアログを表示する)」を選択します。
2. IE → Tools(ツール) → Internet Options…(インターネットオプション…) → Security(セキュリティ)タブ → Custom Level…(レベルのカスタマイズ…) → Initialize and script ActiveX controls not marked as safe(スクリプトを実行しても安全だとマークされていない ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行) → 「Enable(有効にする)」または「Prompt(ダイアログを表示する)」を選択します。

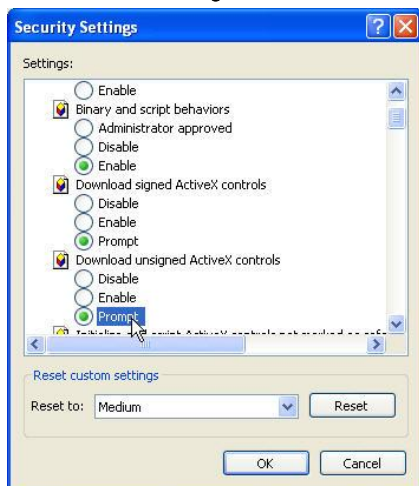
1



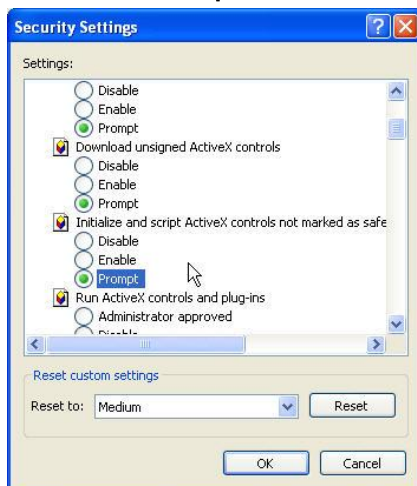
2



3

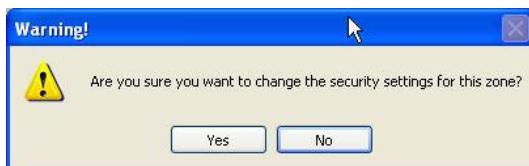


4



5

次のダイアログボックスが表示されたら、「Yes(はい)」をクリックします。



IP カメラブラウザインターフェースを使用する

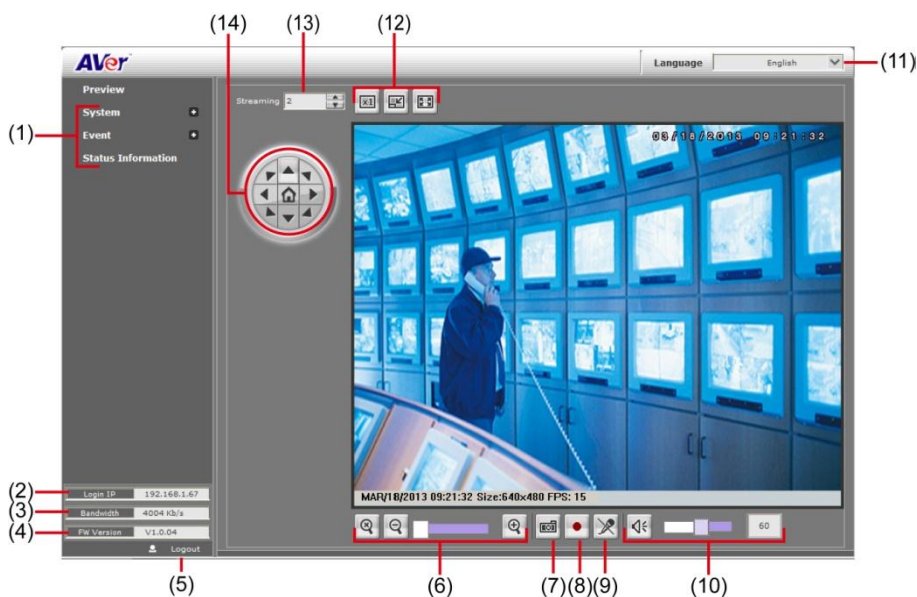
管理者には、IP カメラブラウザインターフェースへの完全アクセス権があります。左側のメニューを展開し、すべての機能にアクセスすることができます。

プレビュー

IE ブラウザを起動し、アドレス項目に IP カメラの IP アドレスを入力します。次のダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力します。デフォルトのユーザー名とパスワードはどちらも「admin」です。



IP カメラに接続されると、次のプログラムインターフェースが表示されます。



名前

機能

(1) System/Event/Status

Information (システム/イベント/ステータス情報)

IP カメラの構成をセットアップします。

名前	機能
(2) Login IP (ログイン IP)	PC の IP アドレスを表示します。
(3) Bandwidth (帯域幅)	現在の IP カメラの転送帯域幅を表示します。
(4) FW Version (FW バージョン)	IP カメラの現在のファームウェアバージョンを表示します。
(5) Logout (ログアウト)	アプリケーションを終了します。
(6) Zoom control (ズーム制御)	 ズームレベルをリセットします。  ズームレベルを上げます。  ズームレベルを下げます。  スクロールバーを使って動画画面にズームインしたり、動画画面からズームアウトします。
(7) Capture (キャプチャ)	 画面上の画像を撮影して *.bmp 形式で保存します。
(8) Record (レコード)	 オーディオ録音とビデオ録画を開始/停止します。録画したビデオは *.avi 形式で保存されます。
(9) 2-way Talk (双方向トーク)	 マイクボタンをクリックして、ユーザー側から IP カメラ側へ通話します。 このボタンをもう一度押してこの機能を消音にします。
(10) Speaker (スピーカー)	 IP カメラ側の音が PC 側で聞こえるように、PC のスピーカーをオンにします。オフにするには、このボタンをもう一度クリックします。  スクロールバーでスピーカーの音量を調節します。  現在のスピーカーの音量値を示します。
(11) Language (言語)	ブラウザインターフェースの言語を選択します。
(12) Video screen (動画画面)	動画画面のディスプレイを変更します。  現在の動画ピクセルサイズを表示します。  動画画面を小さいサイズで表示します。  ビデオを全画面モードで表示します。[ESC] を押して全画面モードを終了します。
(13) Stream (ストリーム)	ビデオストリームのタイプを表示します。IP カメラは最大 3 タイプの複数のビデオストリームを送信できます。ビデオストリーム設定を変更するには、System (システム) > Video Stream (ビデオストリーム) の順に開きます。 [注記] 「Video Setting (ビデオ設定)」のストリーム 2 設定が閉じている場合は、その他のストリームオプションはありません。

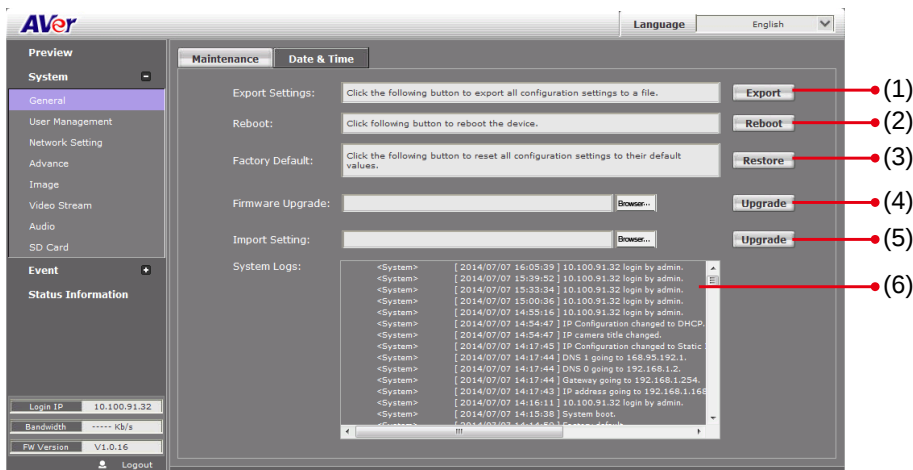
名前	機能
(14) Direction Controller (15) (方向コントローラ)	ズームモードのビューポイントの位置を変更します。まず、ズームインしてから変更します。

System(システム) > General(一般)

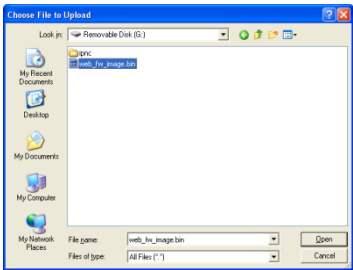
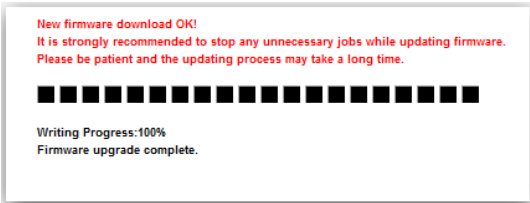
管理者のみが、このセクションで取り扱う IP カメラシステムメンテナンス、日付/時刻の設定を変更することができます。

System(システム) > General(一般) > Maintenance(メンテナンス)

Maintenance(メンテナンス)タブで、管理者は、システムイベントログの確認、システムファームウェアのアップグレード、または、構成設定のリセットができます。ユーザー管理とネットワーク設定を変更したり、再起動したり、または、すべて工場出荷時の設定に復元する必要はありません。

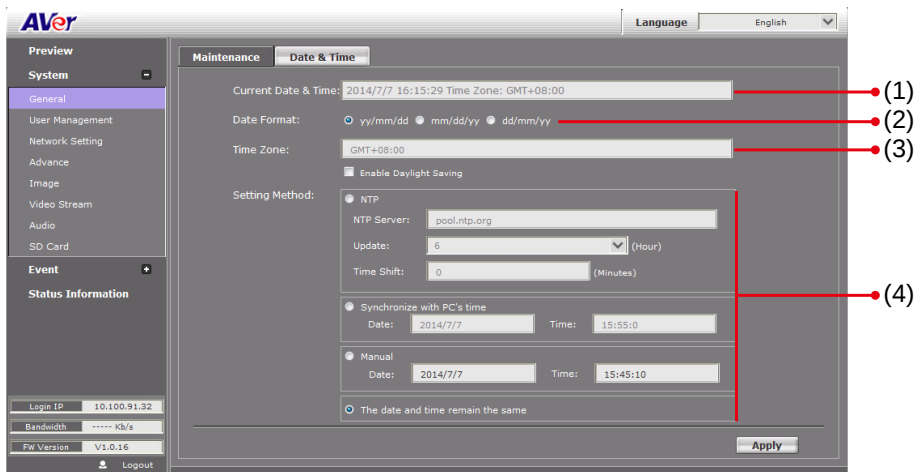


名前	機能
(1) Export Settings(設定をエクスポート)	IP カメラからの構成設定をすべてアップロードしてコンピュータのハードディスクに保存します。
(2) Reboot system(システム再起動)	IP カメラを再起動します。
(3) Factory default(工場出荷時の設定)	IP カメラのすべての設定を削除します。

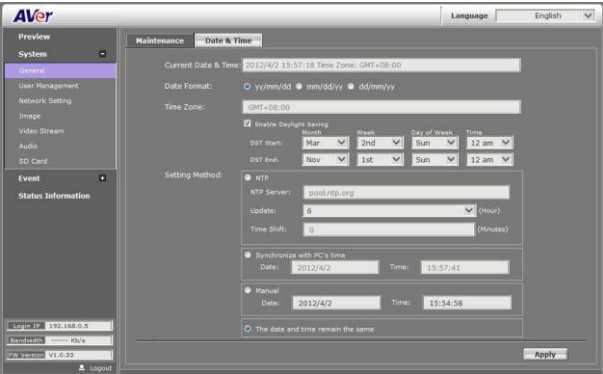
名前	機能
(4) Firmware Upgrade (ファームウェア・アップグレード)	ファームウェアを最新バージョンにアップグレードします。 <u>IP カメラのファームウェアをアップグレードする</u> - 弊社 Web サイトからファイルをダウンロードして、お使いのコンピュータのハードディスクに保存します。 [Browse (検索)] をクリックします。ファイルを検索して選択し、[Open (開く)] をクリックします。 [Apply (適用)] をクリックします。「Firmware Upgrade OK!! (ファームウェア・アップグレード OK!!)」というメッセージが表示されるまで待ちます。Internet Explorer ブラウザリフレッシュボタンまたは F5 を押します。「ログイン」ページが表示されます。
	
	
(5) Import (インポート)	構成設定ファイルをコンピュータのハードディスクから IP カメラにダウンロードして、現在の設定と置き換えます。
(6) System log (システムログ)	IP カメラのシステムイベントログを表示します。

System(システム) > General(一般) > Date & Time(日付と時刻)

Date & Time(日付と時刻)タブで、管理者はシステムの日付と時刻を設定したり更新できます。正しい設定を入力したら、[Apply(適用)] をクリックして新しい設定を適用します。



名前	機能
(1) Current Date & Time(現在の日付と時刻)	現在の日付と時刻を表示します。
(2) Date Format(日付形式)	日付の表示形式を選択します。
(3) Time Zone(タイムゾーン)	現地のタイムゾーンを設定します。「Enable Daylight Saving(夏時間を有効にする)」の横にあるボックスにチェックを入れて、夏時間の開始日と終了日を有効にしてセットアップします。



名前	機能
(4) Setting Method (設定方法)	日付と時刻の設定方法を選択します。 <u>Sync with current PC (現在の PC と同期する)</u>– 現在ログインしているコンピュータ上の日付と時刻の設定を取得します。 <u>Sync with NTP Server (NTP サーバーと同期する)</u>– NTP サーバーの日付と時刻の設定を取得します。ドロップダウンリストから NTP ホスト名を選択します。 <u>Manual (手動)</u>– 日付と時刻を手動で設定します。[Done (完了)] をクリックして、日付と時刻のインターフェースを閉じます。

System (システム) > User Management (ユーザー管理)

管理者のみが、このセクションで説明する Account (アカウント) タブでのアカウントの作成、削除、および、編集操作と、Connection (接続) タブでのクライアント接続設定を変更することができます。

System (システム) > User Management (ユーザー管理) > Account (アカウント)

IP カメラは Administrator (管理者) (Admin) と Guest User (ゲストユーザー) という 2 つの異なるユーザー・アカウントに対応します。

ユーザータイプ	アクセス権
Admin (管理者)	すべての設定ページにアクセスできます。
Guest User (ゲストユーザー)	アクセスできるのはプレビューページとステータス情報ページだけです。

■ **Anonymous User Login (匿名ユーザーのログイン)**

✓ **Yes (はい):** 匿名のログインを許可します。

✓ **No (いいえ):** この IP カメラにアクセスするにはユーザー名とパスワードが必要になります。

■ **Add user (ユーザーの追加):** **Add user:** ユーザー名とパスワードを入力して、「**Add/Set (追加/設定)**」をクリックします。

■ **User List (ユーザー一覧):** **User List:** 「**edit (編集)**」または「**delete (削除)**」をクリックしてユーザー情報を変更します。

A screenshot of a 'User Setup' dialog box. It has a title bar 'User Setup'. Inside, there are three labels: 'Username:', 'Password:', and 'Confirm:'. The 'Username:' field contains the text 'guest'. The 'Password:' and 'Confirm:' fields are empty. At the bottom right, there is an 'OK' button.

[注記]

1. パスワードを空白にすることはできません。パスワードを空白にすると、ログインできなくなります。
2. ユーザー名には、「*」、「%」、「\$」、「&」などの特殊記号を使用することはできません。

System(システム) > Network Setting(ネットワーク設定)>Setting(設定)

- **Device Name(デバイス名)**: IP カメラ名を使用して、接続されている全ての IP カメラから特定のカメラを検索することができます。

The screenshot shows the AVer network configuration web interface. On the left, a sidebar contains 'Preview' and 'System' sections. Under 'System', 'Network Setting' is highlighted. Below it are 'Advance', 'Image', 'Video Stream', 'Audio', and 'SD Card'. The 'Event' section has a '+' icon, and 'Status Information' shows 'Login IP: 10.100.91.32', 'Bandwidth: ---- Kb/s', and 'FW Version: V1.0.16' with a 'Logout' button. The main panel has tabs for 'Setting', 'Server', 'DDNS', 'Other 1', 'Other 2', and 'IPv6'. The 'Setting' tab is active, showing 'Network Type' with radio buttons for 'DHCP' (selected) and 'Static'. Below are input fields for 'IP Address' (10.100.91.52), 'Subnet Mask' (255.255.255.0), 'Gateway' (10.100.91.254), 'Primary DNS' (10.100.1.5), and 'Secondary DNS' (10.100.1.6). Further down are fields for 'Username', 'Password', and 'Confirm Password', along with a 'Send mail after dialed' checkbox (unchecked) and a 'Subject' field containing 'PPPoE From IP Camera'. An 'Apply' button is located at the bottom right of the main panel.

- **Network Type(ネットワークタイプ)**: IP カメラは DHCP、静的 IP、および、PPPoE に対応します。すべての設定を完了したら、[**Apply(適用)**] をクリックして構成を保存します。
 - **DHCP**: DHCP を利用して、すべてのネットワークパラメータを自動的に取得します。
 - **静的 IP**: IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を手動で入力してください。
 - **PPPoE**: ADSL 接続用に、**Username(ユーザー名)**、**Password(パスワード)**を入力し、**Confirm Password(パスワードの確認)**にもう一度パスワードを入力します。次に、[**Apply(適用)**] をクリックして構成を保存します。

System(システム) > Network Setting(ネットワーク設定)>Sever(サーバー)

動画を電子メールまたは FTP 経由で送信する場合、または、NAS 上に保存する場合に使用します。

The screenshot shows the AVer network settings interface. The 'Server' tab is selected, displaying three main sections: Mail Setting, FTP Setting, and NAS Settings. The Mail Setting section includes fields for Login Method (set to Account), Sender Email Address, Recipient Email Address, Mail Server, Account Name, Password, and Secure Connect (set to TLS). The FTP Setting section includes fields for FTP Server, Account Name, Password, Path, and Create the folder (set to Yes). The NAS Settings section includes fields for Location, Workgroup, Account Name, Password, and Create the folder (set to Yes). An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

■ **Mail Setting(メール設定):** 関連するデータまたは情報を入力し、**Test(テスト)** ボタンをクリックしてテストします。

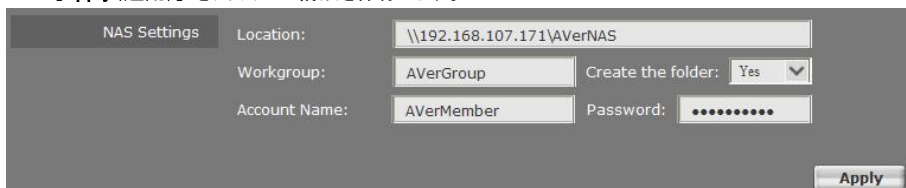
- Login Method(ログイン方法):** ドロップダウンリストをクリックして、「**Account(アカウント)**」または「**Anonymous(匿名)**」から、電子メールサーバにログインする方法を選択します。
- 「**Bcc Mail(Bcc メール)**」、「**Sender Email Address(送信者電子メールアドレス)**」、「**Recipient Email Address(受信者電子メールアドレス)**」、「**Mail Server(メールサーバ)**」、「**Mail Server Port(メールサーバポート)**」、「**Account Name(アカウント名)**」、および、「**Password(パスワード)**」の欄に必要な情報を入力します。
- 「**Apply(適用)**」をクリックして構成を保存します。

■ **FTP Setting(FTP 設定):** FTP 情報を入力し、テストします。

- 「**FTP Server(FTP サーバー)**」、「**Account Name(アカウント名)**」、「**Password(パスワード)**」、および、「**Path(パス)**」の欄に必要な情報を入力します。
- Port(ポート):** FTP サーバポートを選択します。
- FTP サーバー上に新しいフォルダを作成してビデオファイルを保存する場合は、「**Create the folder(フォルダを作成する)**」で「**Yes(はい)**」を選択します。
- Mode(モード):** FTP 転送モードを選択します。
- 「**Apply(適用)**」をクリックして構成を保存します。

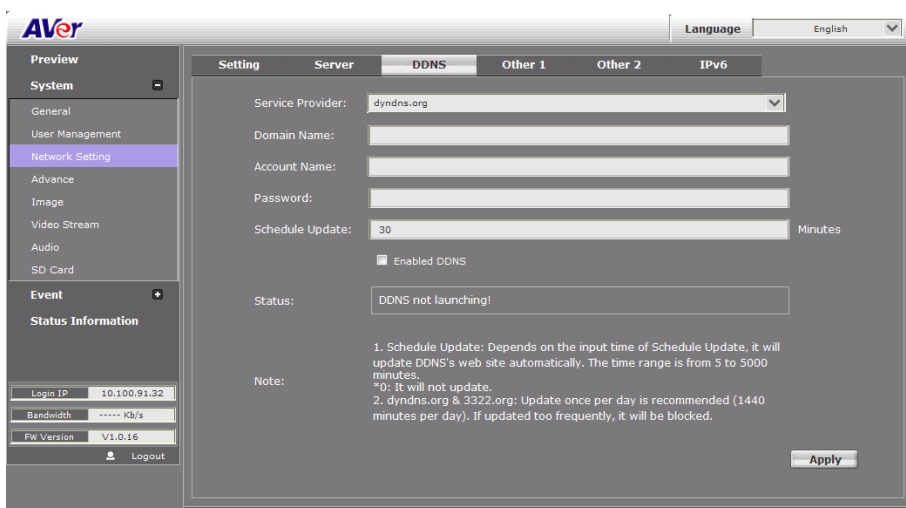
■ **NAS Settings(NAS 設定):** 動画を NAS サーバーに送信する際に使用します。

- 「**Location(場所)**」、「**Workgroup(ワークグループ)**」、「**Account Name(アカウント名)**」、および、「**Password(パスワード)**」の欄に必要な情報を入力します。
- NAS サーバー上に新しいフォルダを作成してビデオファイルを保存する場合は、「**Create the folder(フォルダを作成する)**」で「**Yes(はい)**」を選択します。
- 「**Apply(適用)**」をクリックして構成を保存します。



System(システム) > Network Setting(ネットワーク設定)>DDNS

IP カメラは DDNS(動的 DNS)サービスに対応します。



- DDNS 機能を有効にします。
- DynDNS の Hostname(ホスト名)、Username(ユーザー名)、Password(パスワード)を入力します。
- IP スケジュール更新のリフレッシュ期間を設定します。
- 「**Apply(適用)**」をクリックします。

[注記] IP スケジュール更新を頻繁に設定すると、IP がブロックされることがあります。通常毎日(1440 分)のスケジュール更新が推奨されます。

■ ステータス

- 共通警告メッセージ:

Updating!

Failed(1), Please check your DNS setting.

Failed(2), Please check your internet connection.

Failed(3), Please check your internet connection.

Failed(6), receiving data failure

- 異なるサービスプロバイダの警告メッセージ:

◇ サービスプロバイダ : **dyndns.org**

Failed(4), Please check the Dyndns.org.

Error: The system parameter given is not valid.

Error: No user agent was specified.

Error: The username and password pair do not match a real user.

Error: An option available only to credited users was specified.

Error: Not in the form hostname.domain.org or domain.com.

Error: The hostname specified does not exist.

Error: Not under the username specified.

Error: Too many or no hosts specified in an update.

Error: The hostname specified is blocked for update abuse.

Error: DNS error encountered.

Error: DNS Server Error Conditions.

◇ サービスプロバイダ : **ddns.camddns.com (TW)**

Failed(5), The name has already been registered.

◇ サービスプロバイダ : **ddns.ipddn.com (HK)**

Failed(5), The name has already been registered

◇ サービスプロバイダ :

Failed(4), Please check the www.3322.org.

System(システム) > Network Setting(ネットワーク設定)>Other 1(その他 1)

IP 割り当てをセットアップする際には、競合を回避するために異なるポートを割り当てなければならない場合があります。
[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

- **HTTP Port(HTTP ポート):** Web ページ接続ポートとビデオ転送ポートを設定します(デフォルト: 80)。
- **HTTPS Port:** AVer IP カメラは、HTTPS を使用した暗号化ブラウジングに対応しています。この設定は[System (システム)] > [Advance (詳細設定)] > [HTTPS] から行うことができます。
- **UPnP** この IP カメラは UPnP に対応しています。UPnP がお使いのコンピュータで有効になっていれば、カメラが自動的に検出され、新しいアイコンが「My Network Places(マイネットワーク)」に追加されます。
[注記] UPnP がお使いの PC で有効になっている必要があります。

UPnP を有効にするには次の手順に従ってください。

1. スタートメニューから **Control Panel(コントロールパネル)**を開きます。
 2. **Add/Remove Programs(プログラムの追加と削除)**を選択します。
 3. **Select Add/Remove Windows Components(Windows コンポーネントの追加と削除)**を選択し、**Networking Services(ネットワークサービス)**を開きます。
 4. **Details(詳細)**をクリックし、**UPnP**を選択します。
 5. IP デバイスが「**My Network Places(マイネットワーク)**」に追加されます。
 6. IP デバイスアイコンをダブル・クリックすると、IE ブラウザにアクセスすることができます。
- **UPnP Port Forwarding(UPnP ポート転送):** IP カメラがファイアウォールの後ろにセットアップされている場合は、YES(はい)を選択して有効にします。
 - **Rtsp Server(RTSP サーバー):** RTSP の機能を有効/無効にします。リアルタイムストリーミングプロトコル(RTSP)は、ストリーミングメディアサーバ制御用のネットワーク制御プロトコルです。
 - **RTSP 認証:** RTSP 認証モード(無効、ベーシック、ダイジェスト)を選択します。

- **RTSP Port(RTSP ポート):** RTSP 送信のポートを設定します(デフォルト: 554)。
- **RTP Start Port(RTP 開始ポート)とRTP End Port(RTP 終了ポート):** RTSP モードでは、接続に TCP と UDP を使用することができます。TCP 接続では RTSP ポート(554)が使用されます。UDP 接続では RTP Start Port(RTP 開始ポート)と RTP End Port(RTP 終了ポート)が使用されます。
- **ONVIF:** ONVIF 標準を有効にして ONVIF バージョンを選択するか、それを無効にすることができます。
- **Security(セキュリティ): Yes(はい)**の場合は、ONVIF プロトコル経由で IP カメラに接続する際にアカウントとパスワードを入力する必要があります。**No(いいえ)**の場合は接続のためにアカウントやパスワードは必要ありません。(NVR システムが ONVIF v1.02 に対応することを確認してください。)
- **RTSP Keepalive:** 遠隔側で切断されるまで接続を維持します。

System(システム) > Network Setting(ネットワーク設定)>Other 2(その他 2)

Multicast Setting(based on the Rtsp Server)(マルチキャスト設定(Rtsp サーバに基づく))

Rtsp サーバーに基づいて 2 つのストリーミングを設定することができます。

The screenshot shows the AVer network configuration interface. On the left is a sidebar with a menu: Preview, System (selected), General, User Management, Network Setting (highlighted), Advance, Image, Video Stream, Audio, SD Card, Event, and Status Information. The main area is titled 'Setting' and has tabs for Server, DDNS, Other 1, Other 2, and IPv6. Under the 'Other 2' tab, there are two sections: 'Multicast Streaming1' and 'Multicast Streaming2'. Each section has fields for IP Address, Port, and TTL. For 'Multicast Streaming1', the values are 234.5.6.78, 6000, and 15. For 'Multicast Streaming2', the values are 234.5.6.79, 6001, and 15. Below these are 'Bonjour' and 'LLTD' settings. 'Bonjour' has radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled' (selected), a 'Bonjour Name' field with 'IP_Camera', and a MAC address '@00:18:1A:0C:E3:52'. 'LLTD' also has radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled' (selected). At the bottom right is an 'Apply' button. The bottom of the sidebar shows 'Login IP' as 10.100.91.32, 'Bandwidth' as ---- Kb/s, 'FW Version' as V1.0.16, and a 'Logout' button.

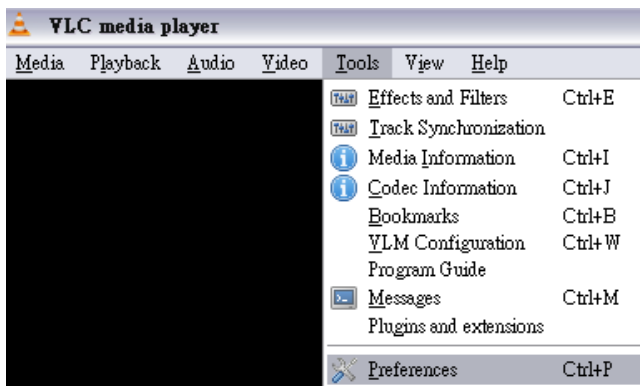
マルチキャスト操作の例:

LAN 環境でマルチキャストストリーミングを受信するためのアプリケーションです。下記の手順で VLC プレーヤーを設定し、マルチキャストストリーミングを受信します。

次の手順に従って、マルチキャストストリーミングを受信してください:

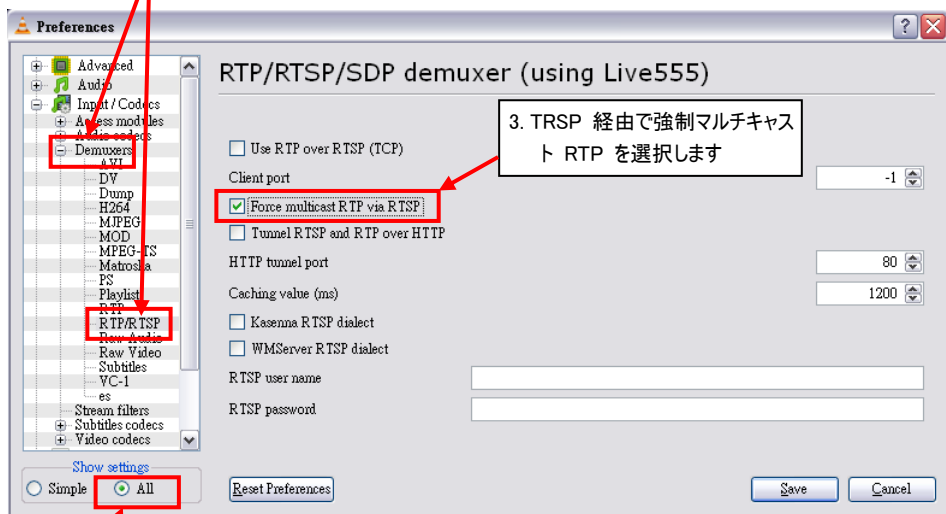
手順 1:

1. VLC プレーヤーをインストールします(インターネットからダウンロードしてください)
2. /tools/preferences(/ツール/プリファレンス)を選択します



Step 2:

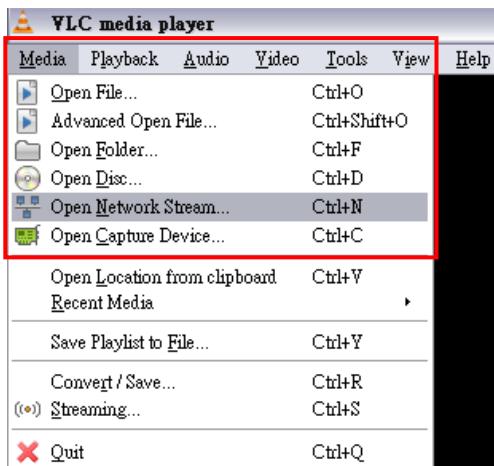
2. Demuxers と RTP/RTSP を
選択します



1. All(すべて)を選択します

手順 3:

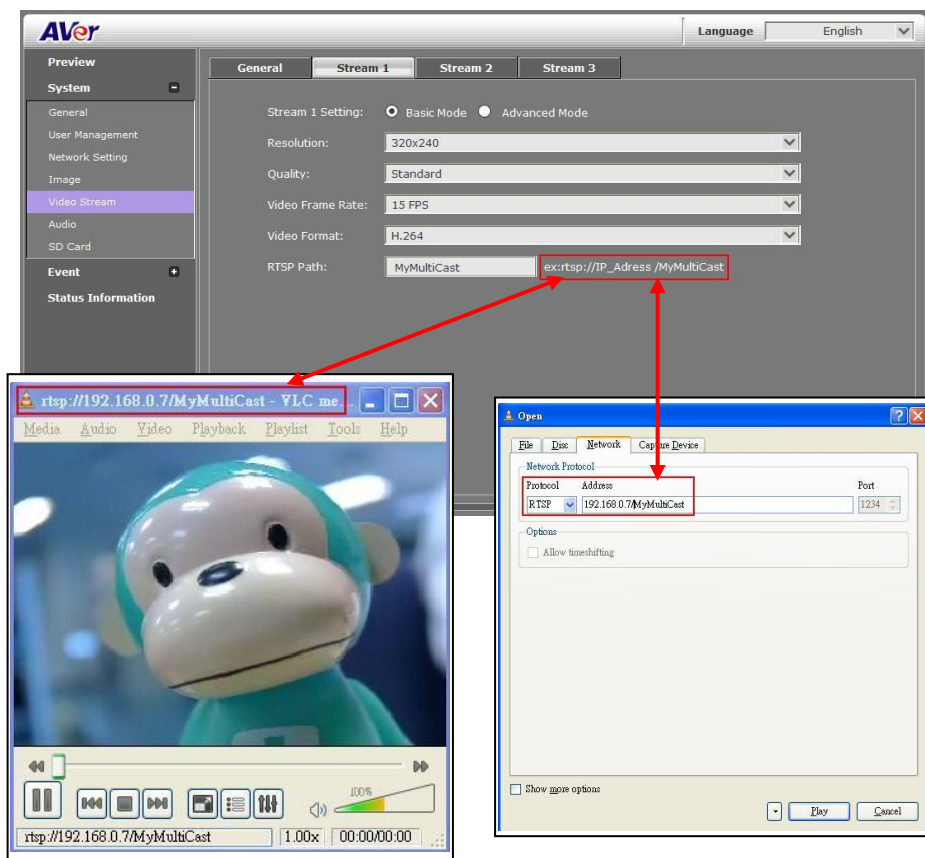
Media/open network stream(メディア/オープンネットワークストリーム)を選択します



手順 4:

rtsp://[IPCAM Address] / [RTSP Path] を入力します

URL アドレスはビデオストリーム内の RTSP パスと同じになります (System (システム) --> Video Stream (ビデオストリーム))



[注記]

- a. 受信した画像が要請した IP カメラからの画像でない場合は、値を調整してください。(IP アドレスまたはポート番号を変更します)

Language: English

Preview

System

General

User Management

Network Setting

Advance

Image

Video Stream

Audio

SD Card

Event

Status Information

Login IP: 10.100.91.32

Bandwidth: ----- Kb/s

FW Version: V1.0.16

Logout

Setting Server DDNS Other 1 Other 2 IPv6

Multicast Streaming1

IP Address: 234.5.6.78

Port: 6000

TTL: 15

Multicast Streaming2

IP Address: 234.5.6.79

Port: 6001

TTL: 15

Bonjour

Enabled ☐ Disabled ☐

Bonjour Name: IP_Camera @00:18:1A:0C:E3:52

LLTD

Enabled ☐ Disabled ☐

Apply

- a. お使いのマルチキャストストリームが RTSP Keepalive に対応していない場合は、NO(いいえ)を選択してください。

Language: English

Preview

System

General

User Management

Network Setting

Advance

Image

Video Stream

Audio

SD Card

Event

Status Information

Login IP: 10.100.91.32

Bandwidth: ----- Kb/s

FW Version: V1.0.16

Logout

Setting Server DDNS Other 1 Other 2 IPv6

HTTP Port: 80

HTTPS Port: 443

UPnP Support: Yes ☐ No ☐

UPnP Port Forwarding: Yes ☐ No ☐

External HTTP Port: 80

External HTTPS Port: 443

External RTSP Port: 554

RTSP Server: Yes ☐ No ☐

RTSP Authentication: Disable

RTSP Port: 554

RTP Start Port: 5000 [1024..9997]

RTP End Port: 9000 [1027..10000]

ONVIF: Enabled ☐ Disabled ☐

Security: Yes ☐ No ☐

RTSP Keepalive: Yes ☐ No ☐

Apply

- **Bonjour:** この機能は、MAC システムから、この IP カメラにリンクできるようにします。Bonjour Name 欄に IP カメラ 名称を入力してください(Safari は Bonjour プロトコルをサポートしています)。
- **LLTD:** お使いの PC が LLTD をサポートしている場合、この機能を使って、ネットワークマップ上で、この IP カメラの接続状態、プロパティ(属性)、およびデバイス情報(IP アドレスなど)を確認できます。Windows Vista または Windows7 を実行中のコンピュータで、**スタート → コントロール・パネル → ネットワークとインターネット → ネットワークと共有センター → 「フルマップを表示」**をクリックして LLTD を見つけることができます。

The screenshot shows the AVer camera's web interface. On the left is a sidebar with a 'Preview' section and a 'System' menu. The 'System' menu is expanded, showing options like General, User Management, Network Setting (highlighted), Advance, Image, Video Stream, Audio, and SD Card. Below the menu is a 'Status Information' section showing Login IP (10.100.91.32), Bandwidth (---- Kb/s), and FW Version (V1.0.16). The main content area has tabs for Setting, Server, DDNS, Other 1, Other 2, and IPv6. The 'Other 2' tab is selected, showing settings for Multicast Streaming 1 and Multicast Streaming 2. Below these are the Bonjour and LLTD settings. Bonjour is set to 'Enabled' with a name of 'IP_Camera' and a MAC address of '@00:18:1A:0C:E3:52'. LLTD is set to 'Enabled'. An 'Apply' button is at the bottom right.

System (システム) > Netwrok(ネットワーク設定) > IPV6(IPv6)

IP アドレスのセットアップには、IPv4 の他に IPv6 も使用できます。

The screenshot shows the AVer camera's web interface with the 'IPv6' tab selected. The 'IPv6 Assignment' section shows 'IPv6 Enabled' checked. Below it, there is a checkbox for 'Manually setup the IPv6 address:'. The 'DHCPv6:' section has 'Enabled' selected. The 'IPv6 Address:' field shows 'fe80::218:1aff:fe0c:e352'. An 'Apply' button is at the bottom right.

System(システム) > Advance(詳細設定) > HTTPS

Language: English

System

General

User Management

Network Setting

Advance

Image

Video Stream

Audio

SD Card

Event

Status Information

Login IP: 10.100.91.32

Bandwidth: ----- Kb/s

FW Version: V1.0.16

Logout

HTTPS

SNMP

Access list

QoS/DSCP

Created Request

Subject: C=TW , ST= , L= , O= , OU= , CN=

Date: 2014/Jul/07 14:15:39

Content Remove

Installed Certificate

Subject: C=TW , ST= , L= , O= , OU= , CN=

Date: Mar 14 08:45:42 2038 GMT

Content Remove

Connection Types

HTTP & HTTPS

HTTPS(Hypertext Transfer Protocol): Https は、Http よりも高いセキュリティレベルで、ストリーミングデータの内容を保護します。「Https」を選択すると、Http では、IP カメラに接続できません。Https パスは「https://(IP アドレス)/」のようになります。「Http と Https」を選択すると、Http と Https のいずれパスでもカメラにアクセスできます。

Connection Types

Http

Https

Http&Https

既存の設定を削除する: 新しい Http リクエストを設定する前に、古いセキュリティ情報を削除します。接続タイプ「Http」をクリックしてから、[Remove(削除)]をクリックします。

Created Request

Subject: C=TW , ST= , L= , O= , OU= , CN=

Date: 2012/Jun/17 17:05:07

Content Remove

Installed Certificate

Subject: C=TW , ST= , L= , O= , OU= , CN=

Date: Mar 14 08:45:42 2038 GMT

Content Remove

作成された要求: セキュリティ ID を設定し、適用します。

Create Request	Country:	
	State or province:	
	Locality:	
	Organization:	
	Organizational Unit:	
	Common Name:	
		Apply

証明書の設定方法には、[Install Signed Certificate (署名入りの証明書をインストールする)]と[Create Self-Signed Certificate (自己署名証明書を作成する)]の 2 つがあります。

Install Signed Certificate	Signed Certificate:		Browse
	Apply		
Create Self-Signed Certificate	Country:		
	State or province:		
	Locality:		
	Organization:		
	Organizational Unit:		
	Common Name:		
	Validity:		Days
Apply			

System(システム)>Advance(詳細設定)> SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol)は、ネットワーク接続されたハードウェアを管理するための、シンプルなフレームワークを提供します。IP カメラを管理するには、まず MIB ブラウザまたは同様のツールを準備する必要があります。このツールにより、SNMPv1、SNMPv2c、および SNMPv3 が同時に有効にできます。

The screenshot shows the AVer camera's web interface. The left sidebar contains a menu with 'Advance' selected. The main area has tabs for 'HTTPs', 'SNMP', 'Access list', and 'QoS/DSCP'. Under the 'SNMP' tab, there are sections for 'SNMPv1', 'SNMPv2c', and 'SNMPv3'. The 'SNMPv1' and 'SNMPv2c' sections are active, showing 'Write Community' as 'write' and 'Read Community' as 'public'. The 'SNMPv3' section is inactive. At the bottom, there are fields for 'Trap Address', 'Trap Community', and 'Trap Event' with checkboxes for 'Network Disconnected', 'V3 Authentication Failed', 'Cold Start', 'Setting Changed', and 'SD Insert/Remove'. An 'Apply' button is at the bottom right.

- **SNMPv1 と SNMPv2:** SNMPv1 および SNMPv2c では、「Community name(コミュニティ名)」は「鍵」とほぼ同じです。コミュニティ名を使うと、SNMP 経由して、IP カメラの情報の読み取りと編集ができます。ボックスにチェックを入れて SNMPv1 または SNMPv2c いずれのプロトコルを有効にするか、書き込み(読み取り/書き込みが可能)または読み取り(読み取り専用)のコミュニティ名を指定します。読み取りが指定されたコミュニティ名もユーザーは、IP カメラのデータの編集はできません。

This is a close-up of the 'SNMP Setting' section for 'SNMPv1' and 'SNMPv2c'. It shows the 'Write Community' field set to 'write' and the 'Read Community' field set to 'public'.

- **SNMPv3:** SNMPv3 の開発の際にデータ・セキュリティを目的に、認証と暗号化による保護機能が追加されました。ユーザーは、セキュリティ名 (v1 と v2c では「**community name** (コミュニティ名)」*1) だけでなく、パスワードを入力する必要があります。書き込み/読み取りそれぞれに対して、セキュリティ名、認証プロトコル、認証パスワード、暗号化プロトコル、暗号化パスワードを設定してください。パスワードの長さは 8～64 ビットにする必要があります。SNMPv1 や SNMPv2c とは異なり、ユーザーは SNMPv3 を使用する際、アカウントを作成する必要があります。アクセスするには、アカウント・パラメーターから、カメラで設定したセキュリティ名とパスワードを入力してください。
*1:「context name (コンテキスト名)」と呼ばれることもあります。

The image shows a configuration window for SNMPv3. It has two main sections: 'Write' and 'Read'. Each section includes fields for 'Security Name', 'Authentication Type' (MD5 or SHA), 'Authentication Password', 'Encryption Type' (DES or AES), and 'Encryption Password'. In the 'Write' section, the Security Name is 'write'. In the 'Read' section, the Security Name is 'public'.

- **SNMPv1/v2cTrap:** トラップは、SNMP マネージャからのポーリングを受動的に待つのではなく、管理デバイスが SNMP マネージャへメッセージを送信するメカニズムです。トラップ・イベントを指定し、これらのイベントが発生したら、カメラは [Trap Address (トラップ・アドレス)] にリング・メッセージを送信します。このアドレスは通常、SNMP マネージャの IP アドレスとなります。トラップ・コミュニティとは、SNMP トラップ・メッセージを受信できるコミュニティを意味します。
 - **Cold Start (コールド・スタート):** カメラは起動または再起動します。
 - **Setting changed (設定が変更されました):** SNMP 設定が変更されました。
 - **Network Disconnected (ネットワークが切断されました):** ネットワーク接続が切断されました。(カメラは、ネットワークが再接続された際に SNMP トラップ・メッセージを送信します)
- **V3 Authentication Failed (V3 認証失敗):** SNMPv3 ユーザー・アカウントは認証を試みましたが、失敗しました。(パスワードまたはコミュニティが合致しなかったため)
- **SD Insert /Remove (SD 挿入/取り外し):** MicroSD カードを挿入/取り外されました。

The image shows a configuration window for SNMPv1/v2c Trap. It includes a checkbox for 'SNMPv1/v2c Trap'. Below it are fields for 'Trap Address' and 'Trap Community' (set to 'public'). At the bottom, there are checkboxes for 'Trap Event': 'Network Disconnected', 'V3 Authentication Failed', 'Cold Start', 'Setting Changed', and 'SD Insert/Remove'.

System(システム) > Advance(詳細設定) > Access list(アクセス・リスト)

IP アドレスまたは IP アドレスの範囲を設定することにより、特定のアドレスからの IP カメラへのアクセスを禁止できます。
[enable(有効化)]ボックスにチェックを入れ、拒否する IP アドレスを入力し、[deny(拒否)]を選択してから、[Add(追加)]をクリックしてリストに追加します。また、IP アドレスの範囲を拒否するよう選択し、かつその中の 1 つまたは複数の IP アドレスを許可することもできます。下図を例にすると、IP アドレス 192.168.50.151~161 はカメラへの接続を許可されていませんが、192.168.50.159 はアクセスできます。

注意: リストでは、「allow(許可)」条件を「deny(拒否)」条件よりも上位にする必要があります。例えば、順序を変え、最初のアイテムが「Deny: 192.168.50.151~192.168.50.161」、次のアイテムを「Allow: 192.168.50.159」とすると、IP 「192.168.50.159」は「deny(拒否)」条件と認知され、カメラは、アクセスを拒否するようになります。

Language English

Preview

System

General

User Management

Network Setting

Advance

Image

Video Stream

Audio

SD Card

Event

Status Information

Login IP 10.100.91.32

Bandwidth ----- Kb/s

FW Version V1.0.16

Logout

HTTPs SNMP Access list QoS/DSCP

☐ Enable ip address filter

IPv4 Setting ☒ allow ☐ deny

address: single

IPv4 List

No.	IP Address	Filter	Action
1			remove
2			remove
3			remove
4			remove
5			remove
6			remove
7			remove
8			remove
9			remove
10			remove

☐ Allow admin IP address always access this device

Admin IP Address:

System(システム)> Advance(詳細設定)>QoS/DSCP

QoS/DSCP(Quality of Server/Differentiated Services Code-point)は、ネットワーク・トラフィックを管理・分類するためのシンプルなメカニズムで、IP ネットワークに QoS(Quality of Service)の条件を提供します。DSCP は、通信パケットを分類するための 0～63 の 6 ビットの IP ヘッドの値です。DSCP 値は、Live Stream(ライブ・ストリーム)、Event/Alarm(イベント/アラーム)、Management(管理)の種類別に通信帯域幅の割り当て率に相当します。例えば、3 つのアイテムを 5、10、20 と設定した場合、3 つのアイテムの帯域幅の割り当ては 5:10:20 となります。「0,0,0」と「63,63,63」はいずれも 3 つのアイテムの帯域幅がそれぞれ 1/3 となるため、同じ割り当てになります。

The screenshot displays the AVer network device web interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: Preview, System (expanded), General, User Management, Network Setting, Advance (highlighted), Image, Video Stream, Audio, SD Card, Event, and Status Information. The main content area is titled 'QoS/DSCP' and includes a sub-section 'QoS/DSCP Setting'. Within this section, there is a checkbox labeled 'Enable QoS/DSCP'. Below the checkbox are three input fields: 'Live Stream:' with a value of 0, 'Event / Alarm:' with a value of 0, and 'Management:' with a value of 0. Each input field has a range indicator '(0~63)' to its right. An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area. The top right of the interface shows a 'Language' dropdown menu set to 'English'. The bottom left of the interface displays system information: 'Login IP' 10.100.91.32, 'Bandwidth' ***** Kb/s, and 'FW Version' V1.0.16, along with a 'Logout' button.

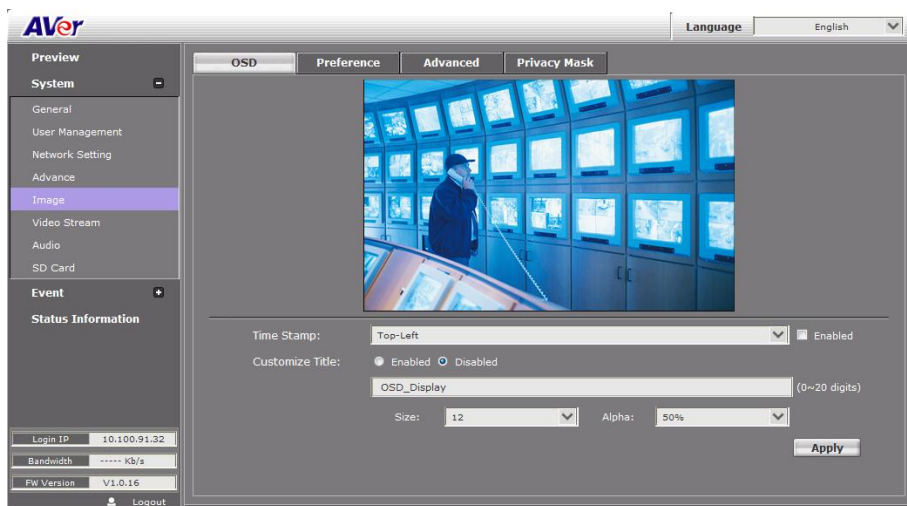
System(システム) > Image(画像)

管理者、オペレータともに画像設定を変更できます。次の4つのタブがあります: OSD、Preference(プリファレンス)、Advanced(拡張)、および、Privacy Mask(プライバシーマスク)。

System(システム) > Image(画像)>OSD

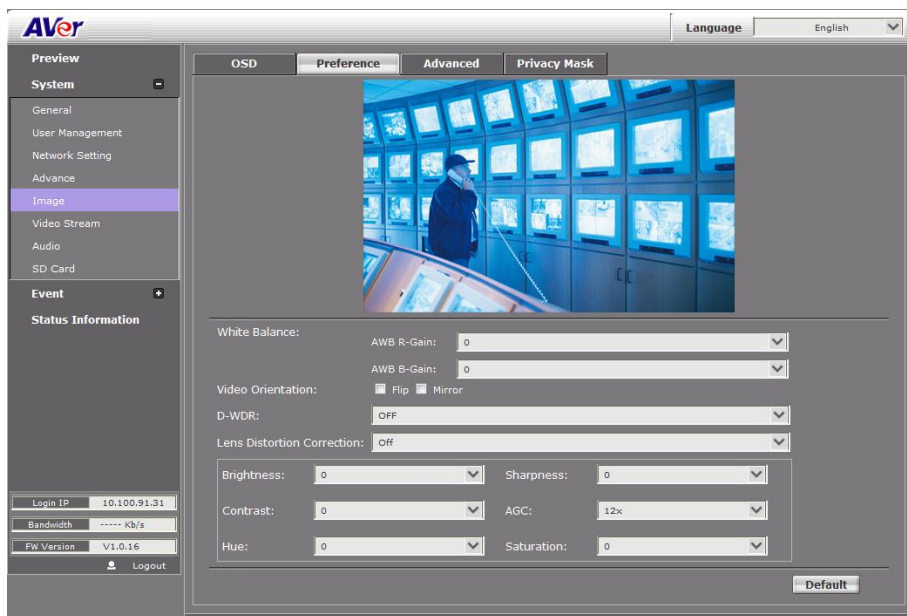
OSD タブで、時間スタンプとテキストタイトルのオーバーレイ表示を有効/無効にできます。設定を完了したら、[Save(保存)] をクリックして新しい設定を適用します。または、[Cancel(キャンセル)] をクリックして新しい設定を維持します。

- **Time Stamp(時刻スタンプ): Enable(有効)** チェック・ボックスにチェックを入れて、動画画面上で日付と時刻スタンプ / テキストを表示する位置を選択します。
- **Customize Title(タイトルをカスタマイズ): Enabled(有効)** をクリックして、テキストの **Size(サイズ)** と **Alpha(透過)** を含む OSD の内容を調整します。



System(システム) > Image(画像)>Preference(プリファレンス)

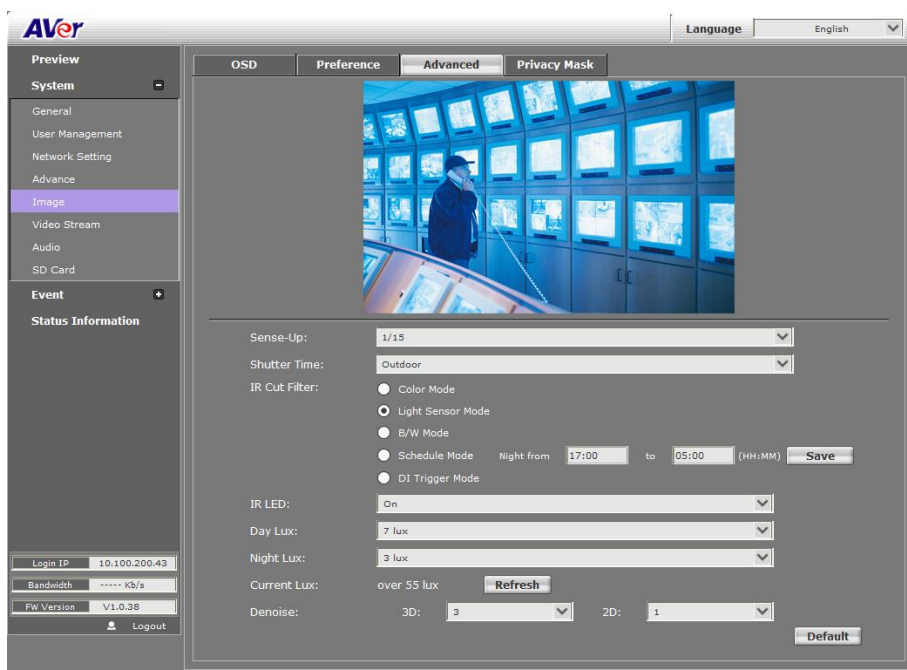
「設定」タブでは、IP カメラのホワイト バランスを調整したり、ビデオの方向を変更したり、輝度やコントラストを調節できます。



- **White Balance(ホワイトバランス):** ホワイトバランスの値を調整します。
- **Video Orientation(画面方向):** 画面上の動画を **Flip(上下反転)**または **Mirror(左右反転)**します。
- **D-WDR(ワイド・ダイナミック・レンジ):** この機能は、強い背景光、グレア、反射など、映像の露出が強すぎたり、弱すぎたりした結果として発生する、白飛び、黒つぶれを減らし、画像全体がはっきりするように調整します。
- **Anti Fog(アンチ・フォグ):** 霧や煙環境下の画像を鮮明にする機能です。
- **レンズゆがみ修正:** レンズの角度によって生じるイメージの境界線のカーブをまっすぐにします。設定可能な値: オフ、1、2、3、4、5、6、7、8、9、10。
- **明瞭な動画を得るために、「Brightness(明るさ)」、「Contrast(コントラスト)」、「Hue(色合い)」、「Saturation(彩度)」を調整します。**
- **デフォルト:** クリックして工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

System(システム) > Image(画像)>Advanced(拡張)

[Default(デフォルト)] ボタンをクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。



- **Sense-Up(感度アップ)**: 感度を上げる主な目的は、人口の光に依存せず、非常に弱い光で見ることです。光が弱い時に、シャッター速度を遅くして、CMOS に蓄積する光を多くすることで明るく見えるようになります。ただし、画像内の移動物体は、移動速度が速くなるほど、被写体ブレにより表示画質は悪化します。
- **Shutter Time(シャッター時間)**: 最高の画質を得ることができるよう、シャッター時間レベルを調節します。
- **IR Cut Filter(IR カット・フィルター)** 使用モードの選択: 赤外線カット・フィルター・リムーバブル機能の使用モードを Color(カラー)、Light Sensor(ライト・センサー)、B/W(白黒)、Schedule(スケジュール)、または DI トリガのモードから選択します。「Light Sensor Mode(輝度センサー・モード)」を選択すると、夜間、画像がより鮮明になるよう白黒に切り替わります。輝度センサー・モードの設定は、Day/Night(昼夜)を切り替える輝度の基準を指定します。Current Lux(現在の輝度)の欄に、現在の輝度が参考表示されます。「Schedule Mode(スケジュール・モード)」では、カラーモードと白黒モードの切替時間を指定します。この設定で「Color(カラー)」または「B/W(白黒)」もコントロールできます。
- **IR LED(赤外線 LED)**: Off を選択すれば IR LED 機能が無効になります。
- **Day Lux/ Night Lux**: Day/Night モードを切り替える照度の値を指定します。
- **Denoise(ノイズ除去)**: この機能は、画像からノイズとぼやけをフィルタリングし、より鮮明に表示します。ノイズ除去方式には「3D(3 次元)」と「2D(2 次元)」の 2 つのアプローチがあり、3D ノイズ除去は連続した画像を分析して

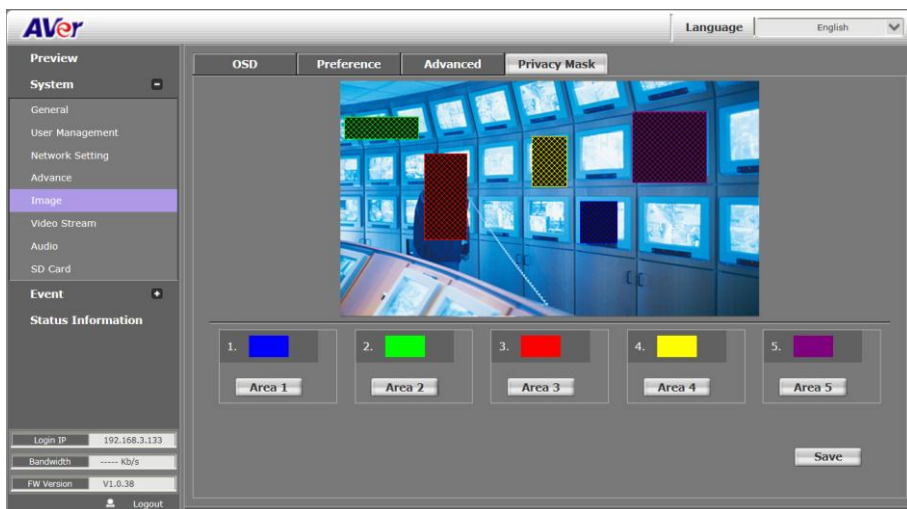
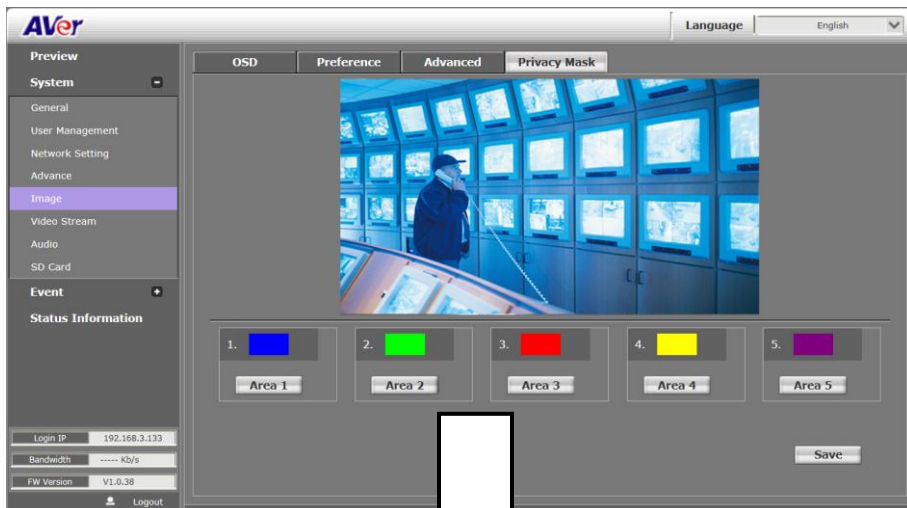
ノイズの位置を検出します。2D ノイズ除去は 1 枚の画像のみを分析します。

【注記】 [シャッター時間] の数字を選択すると、実際には、シャッター時間はその範囲内で変化があり、カメラによって自動的に制御されます。次の表に、シャッター時間オプションと対応する範囲を示します。

オプション	シャッター時間範囲 (秒)
屋外	[感度アップ] で選択された数値
1/10	1/24000 ~ 1/10
1/15	1/24000 ~ 1/15
1/30	1/24000 ~ 1/30
屋内	[感度アップ] で選択された数値
1/30	1/240000 ~ 1/30
1/50	1/240000 ~ 1/50
1/60	1/240000 ~ 1/60
1/100	1/24000 ~ 1/100
1/125	1/24000 ~ 1/125
1/250	1/24000 ~ 1/250
1/500	1/24000 ~ 1/500
1/1000	1/24000 ~ 1/1000

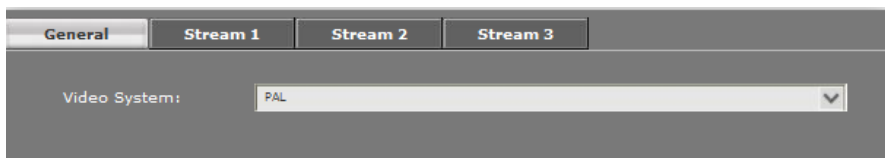
System(システム) > Image(画像)>Privacy Mask(プライバシーマスク)

セキュリティ上の目的から、5つの領域にプライバシーマスクを設定することができます。最初に Area(領域)ボタンをクリックし、画面上でドラッグして範囲を指定します。最後に、Save(保存)ボタンをクリックして設定を保存します。



System(システム) > Video Stream(ビデオストリーム)>General(一般)

- Video System(ビデオシステム): 動画形式を選択します。



General Stream 1 Stream 2 Stream 3

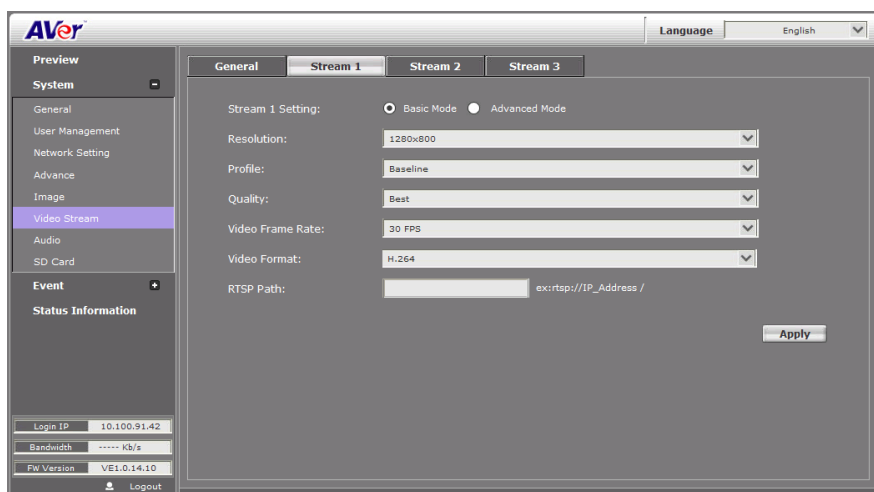
Video System: PAL

System(システム) > Video Stream(ビデオストリーム)>Stream1(ストリーム 1)

Basic Mode(基本モード)

[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

- Resolution(解像度): 6 つの解像度(1280x800, 1280x720, 800x600, 640x480, 320x240, 176x144)から選択することができます。
- Profile(プロファイル): メインとベースラインのどちらかを選択します。
- Quality(品質): 5 つのレベル(Best(最高)、High(高)、Standard(標準)、Medium(中)、Low(低))から選択することができます。品質が高ければ高いほど、ファイルのサイズが大きくなり、インターネット送信には適しません。
- Video Frame Rate(ビデオフレームレート): 毎秒のビデオリフレッシュレート。
- Video Format(動画形式): H.264 または JPEG。
- RTSP Path(RTSP パス): RTSP 出力名。



Language English

Preview System

General User Management Network Setting Advance Image Video Stream Audio SD Card Event Status Information

General Stream 1 Stream 2 Stream 3

Stream 1 Setting: ☒ Basic Mode ☐ Advanced Mode

Resolution: 1280x800

Profile: Baseline

Quality: Best

Video Frame Rate: 30 FPS

Video Format: H.264

RTSP Path: exrtsp://IP_Address /

Apply

Login ID 10.100.91.42

Bandwidth ----- Kb/s

FW Version VE1.0.14.10

Logout

■ Advanced Mode(拡張モード)

[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

- Resolution(解像度):-6 つの解像度(1280x800, 1280x720, 800x600 ,640x480, 320x240, 176x144)から選択することができます。
- Profile(プロファイル): メインとベースラインのどちらかを選択します。
- Rate Control(ビットレート制御モード): CBR(固定ビットレート)と VBR(可変ビットレート)を使用することができます。
 - ✓ CBR: 32Kbps~4Mbps(CBR が高ければ高いほど、動画の品質が良くなります。)
 - ✓ VBR: 1(Low)~10(High)- 圧縮率。圧縮率が高ければ高いほど、画質が下がります(圧縮率が低ければ低いほど、画質は上がります)。VBRとネットワーク帯域幅の間のバランスは画質に影響します。映像の破損や遅れを招く可能性がありますので、VBRは慎重に選択してください。
- ビデオ ビットレート: 32Kbps~1Mbps(ビデオ ビットレートが高いほどビデオの品質が良くなります)。
- Video Frame Rate(ビデオフレームレート): 毎秒のビデオリフレッシュレート。
- GOP Size(GOP サイズ):Group of Pictures(ピクチャの集合)。GOP が高ければ高いほど、品質が良くなります。
- Video Format(動画形式): H.264 または JPEG。
- RTSP Path(RTSP パス): RTSP 出力接続ルート。

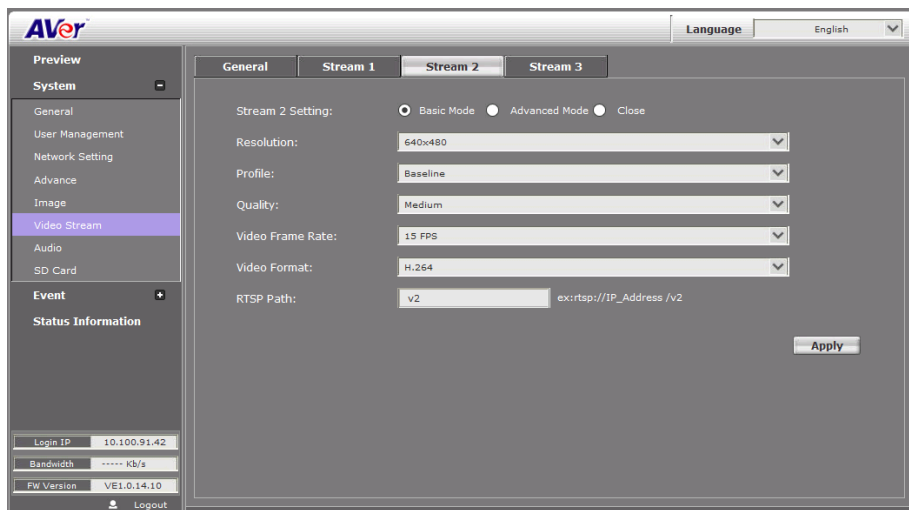
The screenshot displays the AVer software interface. On the left is a sidebar with a menu including 'Preview', 'System', 'General', 'User Management', 'Network Setting', 'Advance', 'Image', 'Video Stream' (highlighted), 'Audio', 'SD Card', 'Event', and 'Status Information'. At the bottom of the sidebar are fields for 'Login IP' (10.100.91.42), 'Bandwidth' (----- Kb/s), 'FW Version' (VE1.0.14.10), and a 'Logout' button. The main window has a 'Language' dropdown set to 'English'. It features three tabs: 'General', 'Stream 1' (selected), and 'Stream 2'. The 'Stream 1 Setting' section shows 'Basic Mode' and 'Advanced Mode' radio buttons, with 'Advanced Mode' selected. Below this are several settings: 'Resolution' (1280x600), 'Profile' (Baseline), 'Rate Control' (CBR and VBR radio buttons, with CBR selected), 'Video Bitrate' (3Mbps), 'Video Frame Rate' (30 FPS), 'GOP Size' (1 X FPS), and 'Video Format' (H.264). To the right of the 'GOP Size' field, it says 'GOP = 30'. The 'RTSP Path' field is empty, with an example 'ex:rtsp://IP_Address /' provided. An 'Apply' button is located at the bottom right of the settings area.

System(システム) > Video Stream(ビデオストリーム)>Stream2(ストリーム 2)

■ Basic Mode(基本モード)

[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

- **Resolution(解像度)**: 6 つの解像度(1280x800, 1280x720, 800x600, 640x480, 320x240, 176x144)から選択することができます。
- **Profile(プロファイル)**: メインとベースラインのどちらかを選択します。
- **Quality(品質)**: 5 つのレベル(Best(最高)、High(高)、Standard(標準)、Medium(中)、Low(低))から選択することができます。 品質が高ければ高いほど、ファイルのサイズが大きくなり、インターネット送信には適しません。
- **Video Frame Rate(ビデオフレームレート)**: 毎秒のビデオリフレッシュレート。
- **Video Format(動画形式)**: H.264 または JPEG。
- **RTSP Path(RTSP パス)**: RTSP 出力名。



■ Advanced Mode(拡張モード)

[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

- **Resolution(解像度)**: 6つの解像度(1280x800, 1280x720, 800x600, 640x480, 320x240, 176x144)から選択することができます。
- **Profile(プロファイル)**: メインとベースラインのどちらかを選択します。
- **Rate Control(ビットレート制御モード)**: CBR(固定ビットレート)とVBR(可変ビットレート)を使用することができます。
 - ✓ **CBR**: 32Kbps~4Mbps (CBRが高ければ高いほど、動画の品質が良くなります。)
 - ✓ **VBR**: 1 (Low)~10 (High) – 圧縮率。圧縮率が高ければ高いほど、画質が下がります (圧縮率が低ければ低いほど、画質は上がります)。VBRとネットワーク帯域幅の間のバランスは画質に影響します。映像の破損や遅れを招く可能性がありますので、VBRは慎重に選択してください。
- **ビデオ ビットレート**: 32Kbps~1Mbps (ビデオ ビットレートが高いほどビデオの品質が良くなります)。
- **Video Frame Rate(ビデオフレームレート)**: 毎秒のビデオリフレッシュレート。
- **GOP Size (GOP サイズ):Group of Pictures(ピクチャの集合)**。GOPが高ければ高いほど、品質が良くなります。
- **Video Format(動画形式)**: H.264 または JPEG。
- **RTSP Path(RTSP パス)**: RTSP 出力接続ルート。

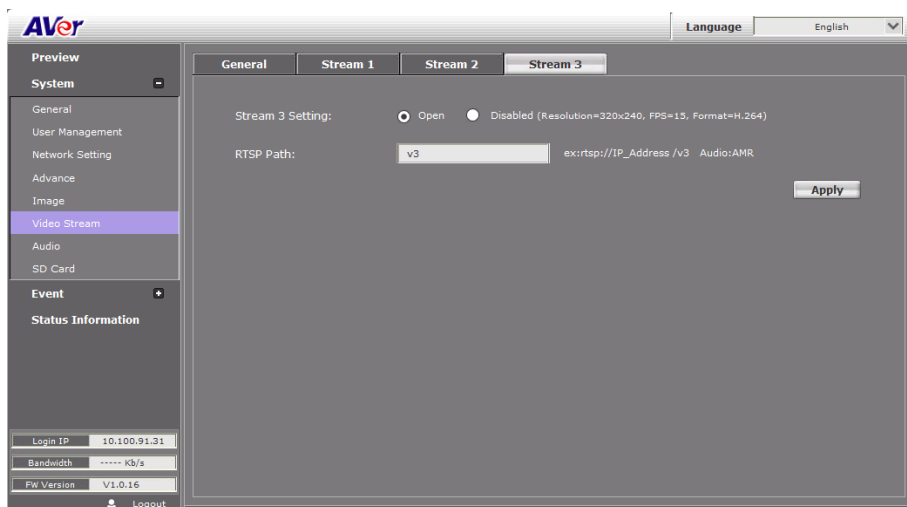
The screenshot shows the AVer web interface for configuring a network camera. The left sidebar contains navigation tabs: Preview, System (selected), Event, and Status Information. Under the System tab, there are sub-tabs: General, User Management, Network Setting, Advance, Image, Video Stream (selected), Audio, and SD Card. The main content area is titled 'Stream 2 Setting' and has three radio buttons: Basic Mode, Advanced Mode (selected), and Close. Below these are several configuration fields: Resolution (640x480), Profile (Baseline), Quality (Medium), Video Frame Rate (15 FPS), Video Format (H.264), and RTSP Path (v2). An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area. At the bottom of the interface, there is a status bar showing Login IP (10.100.91.42), Bandwidth (---- Kb/s), FW Version (VE1.0.14.10), and a Logout button.

- **Close(閉じる)**: ストリーム 2. を閉じます。[Apply(適用)] をクリックして構成を保存します。

System(システム) > Video Stream(ビデオストリーム)>Stream3(ストリーム 3)

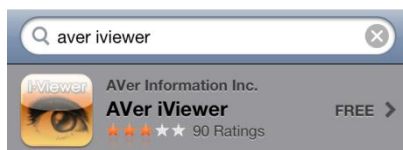
3GPP ストリーミングはモバイル表示のために開発された方式です。

- **Stream3 Setting(ストリーム 3 設定):** 3GPP ストリーミングを **Enable(有効)**または **Disable(無効)**を選びます。
- **RTSP Path(RTSP パス):** URL アドレスを入力します。



[注記]

1. 3GPP モードのビデオ仕様: 解像度 320x240、15FPS、MPEG4 形式。(オーディオ形式: AMR)
2. iPhone や Android などのモバイル端末では、3GPP ストリーミング(3GPP モード)でなく、iViewer を使用して、ストリーム 1 またはストリーム 2 からビデオを取得すると最適な表示品質を得られます。(AVer iViewer は Apple App ストアから、AndroidViewer は Google Play から無償ダウンロードが可能です)



System(システム) > Audio(オーディオ)

IP カメラは双方向音声通話に対応しています。IP カメラ内蔵マイクからリモート PC に音声を送ること、また、リモート PC から IP カメラの外部スピーカーに音声を送ることができます。

IP Camera to PC Audio: ☒ Enabled ☐ Disabled
Audio Type: G.711 (64Kbps) ▼

Adjust Volume Mic-In: 0 ▼
Audio-Out: 0 ▼

Apply

- a. IP カメラ内蔵マイクからローカル PC への音声: この機能を使用するには「**Enable(有効)**」を選択します。
- b. ライブ動画画面で  ボタンをクリックしてチャットを開始します。再度押すとミュートに切り替わります。
 ボタンをクリックして IP カメラのスピーカーのオン/オフを切り替えます。
- c. 3 つのオーディオ コードがあります: G.711 (64Kbps)、G.726(24Kbps)、G.726 (32Kbps)。



System(システム) > SD Card(SD カード)

The screenshot shows the AVer IP camera web interface. The top bar includes the AVer logo and a language dropdown set to English. The left sidebar contains a menu with 'Preview', 'System' (selected), 'General', 'User Management', 'Network Setting', 'Advance', 'Image', 'Video Stream', 'Audio', 'SD Card' (highlighted), 'Event', and 'Status Information'. The main content area is titled 'SD Card' and contains the following sections:

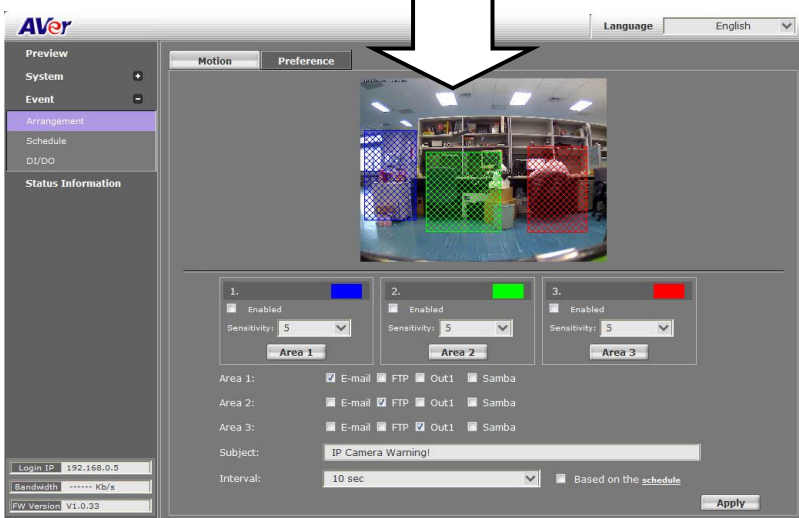
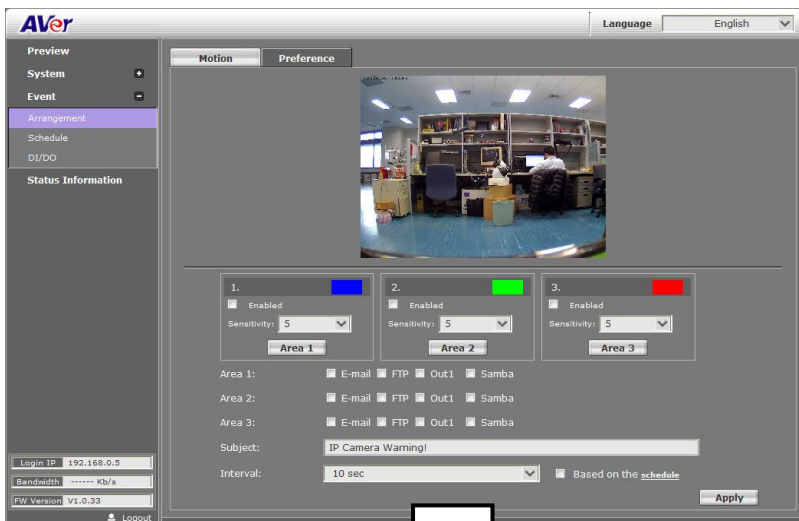
- SD Card documents:** A text box displaying 'No SD card'.
- SD Card Control:** A section with 'Auto Deletion' set to 'Off' and a dropdown menu for '(Keep 1/ 2/ 3/ 4...days)'.
- Format:** A section with a 'Format' button and a warning box that reads: 'WARNING!!! All File will be deleted! NOTE: It only support FAT32 format for SD card over 64G Please format SD card into FAT32 before installation'.
- Apply:** A button at the bottom right of the main content area.

At the bottom of the sidebar, there is a 'Logout' button and status information including 'Login IP: 10.100.91.31', 'Bandwidth: ----- Kb/s', and 'FW Version: V1.0.16'.

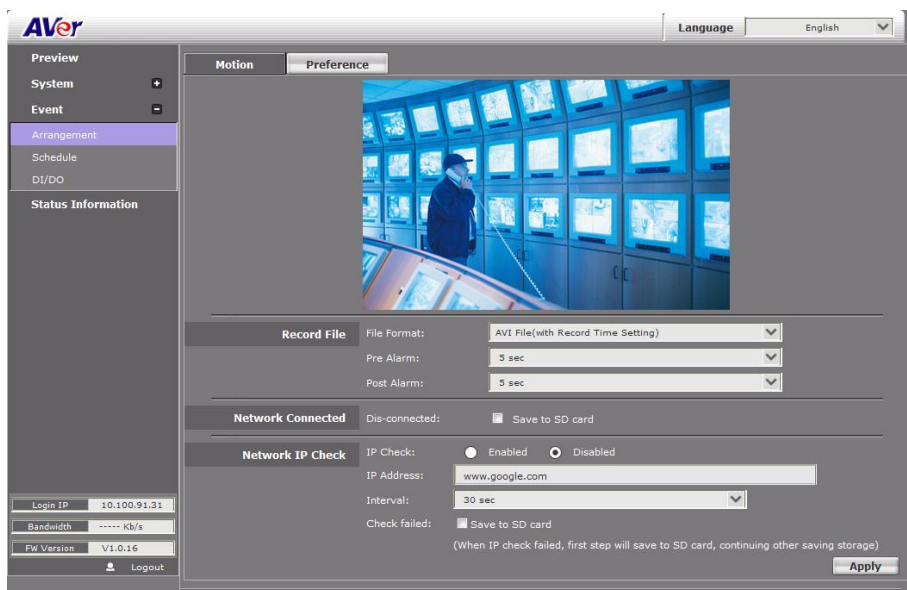
IP カメラを使用する前に必ず microSD カードを装着してください(SD カードはオプションです)。microSD カードをインストールするには、microSD と書かれたカバーのネジをはずします。

Event(イベント) > Arrangement(アレンジメント) > Motion(モーション)

モーション検出: IP カメラでは 3 つのエリアのモーション検出が可能です。モーションがトリガーされると、特定のメールアドレスにビデオを送信し、リモートの FTP サーバーにビデオを転送して、リレーをトリガーし、ビデオをローカル SD/SDHC カードに保存します。モーション エリア 1 をセットアップするには、[エリア 1] ボタンをクリックします。マウスでエリアをドラッグして広げます。エリア 2 と 3 も同じように操作します。(感度の値が高いほどイベントがトリガーされやすくなります。)



Event(イベント) > Arrangement(アレンジメント) > Preference(プリファレンス)



■ Record File(録画ファイル):

- **File Format(ファイル形式):** ファイルサイズの異なる 3 種類の録画モードを選択できます。モーション検知/アラームが作動した際の録画モードを選択します。
 - AVI File(With Record File Setting) (AVI ファイル(レコードファイル設定あり))。
 - Multi-JPEG(With Record File Setting), only with JPEG compression format (マルチ JPEG((レコードファイル設定あり)、JPEG 圧縮形式でのみ))。
 - Single JPEG(Single File with Interval Setting) (シングル JPEG((間隔設定のあるシングルファイル))。
- **Pre Alarm(アラーム前)と Post Alarm(アラーム後)設定:** モーション検出、I/O、またはその他のデバイスが作動した際の、アラーム作動前の録画時間、アラーム作動後の録画時間を設定します。

[注記] Pre/Post Alarm(アラーム前 / アラーム後)レコードタイムは、IP Cam 内蔵 RAM メモリ容量の影響を受けます。録画内容は IP Cam 内蔵 RAM メモリにより制限され、情報が多すぎたり、画質設定が高すぎると、アラーム後の録画映像でフレーム落ちやフレーム・レート低下を引き起こす可能性があります。

- **Network Connected(ネットワーク接続):** 右側のチェック・ボックスにマークがついていると、ネットワークが途切れたときに、ビデオをローカル SDHC カードに保存します。

- **Network IP check(ネットワーク IP チェック):** 接続が途切れたときに、ビデオを SDHC カードに記録します。ビデオ録画が継続していることを確認します。この機能を使用するには、録画ソフトウェアをインストールしている PC の IP アドレスを入力します。「Save to SD card(SD カードに保存)」の機能を有効にして、「Apply(適用)」をクリックします。

Tampering Detection (不正改ざん検知): カメラのレンズが遮られ、グレアが発生したり、焦点がずれたり、カメラが移動されたりした場合、トリガーが触発され、スナップショットや映像を mail/FTP/Samba/SD card 経由で送信する機能です。アラームを発報することも可能です。

例えば:

不正改ざん検出前



不正改ざん検出後 (デフォーカス)



不正改ざん検出前



不正改ざん検出後 (レンズ遮蔽)



不正改ざん検出前



不正改ざん検出後 (グレア)



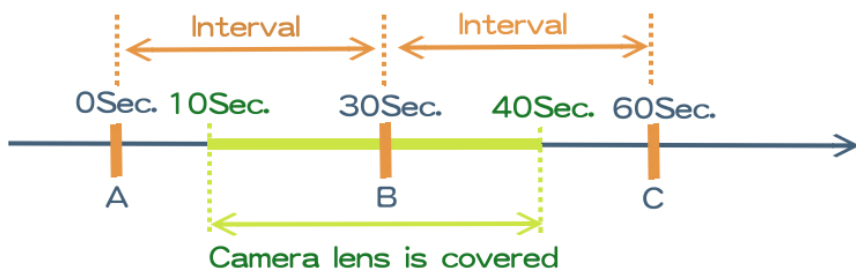
不正改ざん検出前



不正改ざん検出後(カメラ移動)



➤ **検出間隔:** 改ざん検出間隔について下図を用いてご説明します。検出間隔を 30 秒に設定したとします。カメラが 10 秒から 40 秒(計 30 秒間)の間にレンズが遮蔽されました。そうすると B 時点では、カメラが B 時点の画像を A 時点の画像と比較します。レンズが遮蔽されたことが分かり、アラームが送信されます。また、C 時点では、カメラが C 時点と B 時点の画像を比較して、遮蔽物がなくなったことが分かり、再度アラームが送信されます。



Event(イベント) > Schedule(スケジュール)

スケジュール設定を完了すると、そのスケジュール設定に応じてカメラデータが記録されます。

- **Snapshot(スナップショット):** スナップショット機能を有効にすると、スナップショットファイルの保存場所、スナップショットの間隔、スナップショットを保存するファイル名を選択することができます。

Aver

Language English

Preview

System +

Event -

Arrangement

Schedule

DI/DO

Status Information

Login IP 10.100.200.54

Bandwidth ----- Kb/s

FW Version V1.0.62

Logout

All	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
Mon.																								
Tue.																								
Wed.																								
Thu.																								
Fri.																								
Sat.																								
Sun.																								

Schedule Setup.

Snapshot

☐ Enabled

☒ Disabled

Snapshot:

☐ E-mail

☐ FTP

☐ Save to SD card

☐ Samba

Interval:

10

Second(s) [1..50000]

File Name:

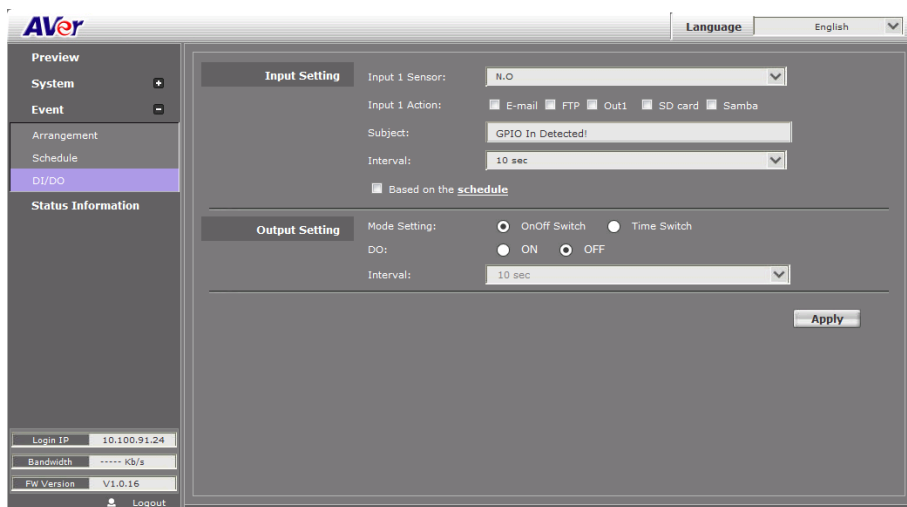
Snapshot

Apply

65

Event(イベント) > DI/DO

IP カメラは 1 入力/1 出力（モデルによって異なる）をサポートします。入力がトリガーされると、いくつかの特定のメール アドレスにビデオを送信し、リモート FTP サーバーにビデオを転送し、リレーをトリガーし、ローカル SD/SDHC カードにビデオを保存できます。



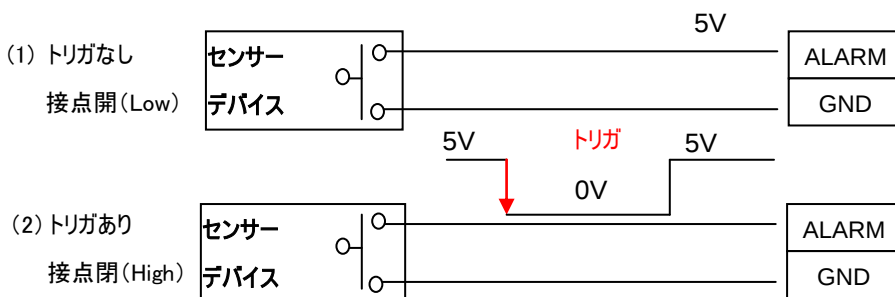
注意!!感電や破損の危険を減らすために、適切なリレーボックスに接続してください。

Input Setting(入力設定):

Input 1 sensor(入力 1 センサ): センサがトリガされていない場合のリレー状態を設定します。

Input 1 action(入力 1 アクション): トリガしたビデオクリップまたは写真を選択した方法で送信します。

Subject(件名): ファイルを電子メール経由で送信する場合の件名です。



Output Setting (出力設定):

Mode setting (モード設定):

OnOff Switch (オンオフスイッチ): リレー状態は、センサがトリガされている時間継続します。

Time Switch (時間スイッチ): 所定の間隔の後に元のリレー状態を復元します。

[注記] GPIO (汎用入出力) 各ピンの説明は、「ハードウェア取り付けと I/O ピン割り当て」を参照して下さい。

グラウンド(G)	アラーム入力: 標準電圧: 5V (ALM INピンとGRDピンの電圧差) Active (アクティブ): 0V (ALM INピンとGRDピンの短絡)
DI	
DO	リレー出力: 最大負荷: 50 mA, DC 5V
グラウンド(G)	

ステータス情報

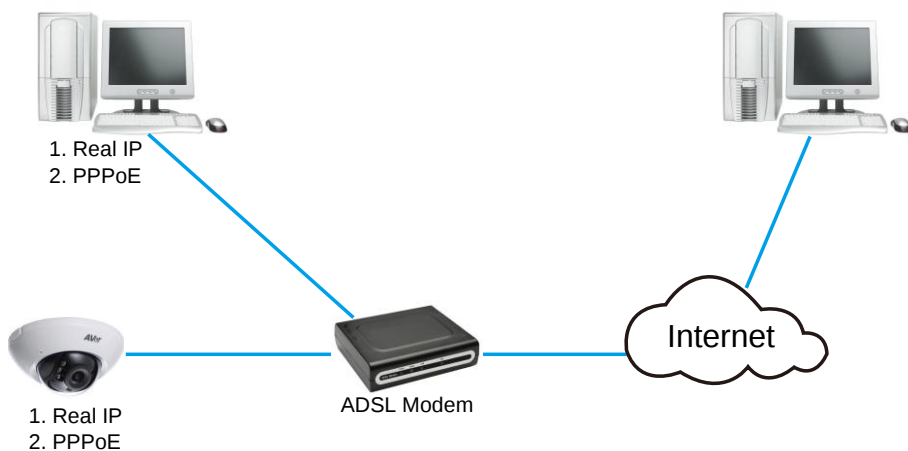
[Apply (適用)] をクリックして構成を保存します。

The screenshot shows the AVer IP Camera web interface. On the left is a sidebar with navigation links: Preview, System, Event, and Status Information. The main area is divided into two sections: Networking Info and Product Info. The Networking Info section contains fields for IP Address (10.100.91.42), MAC Address (00:18:1A:0C:E3:53), Interface (Ethernet), RTSP 1 Path (RTSP://10.100.91.42/), RTSP 2 Path (empty), and 3GPP Path (empty). The Product Info section contains fields for Server Name (IP Camera), LED Indicator (ON), Company (AVer), Model (FD1020), FW Version (V1.0.16), and BuildTime (2014/06/20 17:39:17 CST). At the bottom right is an Apply button. At the bottom left, there are fields for Login IP (10.100.91.31), Bandwidth (---- Kb/s), and FW Version (V1.0.16), along with a Logout button.

- **Networking Info (ネットワーク情報):** IP カメラのネットワーク情報を表示します。
- **Product Info (製品情報):**
 - **サーバー名:** IP カメラに名前を割り当てて、IP インストーラ上に名前を表示します。また、IP カメラの関係情報も表示します。 **Status Bar (ステータスバー)** にチェックを入れて、プレビューインターフェース上に IP カメラのサーバー名を表示します。
 - **LED インジケータ:** IP カメラの LED インジケータを無効/有効にすることができます。

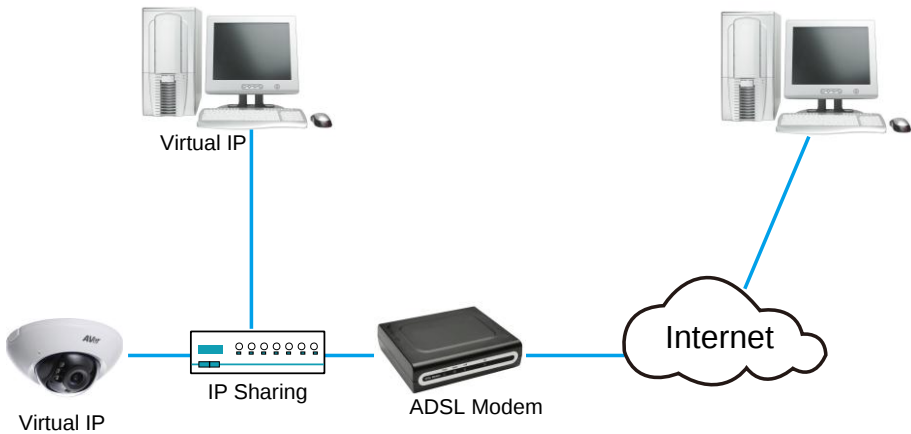
ネットワーク構成

■ 構成 1: 固定 IP を使用する場合



- インターネットへは、ADSL、ケーブルモデムなどを経由して接続します。
- IP アドレスは、複数の固定 IP が必要です。
- IP カメラと PC が、別々の IP アドレスでインターネットに接続されます。
- 固定 IP は、IP 設定をカメラと PC に行います。動的 IP は、PPPoE を開始して取得します。

■ 構成 2: 仮想 IP を使用する場合



- インターネットへは、ADSL、ケーブルモデムなどを経由して接続します。
- IP アドレスは、一つの固定 IP が必要です。
- IP カメラと PC が、インターネットに接続されます。
- IP Sharing 機能を持つ装置が必要です。
- 動的 IP を使用します。IP シェアリングのポート・フォワーディング機能を設定します。詳細は、Network Setting (ネットワーク設定) → Other 1 (その他 1) → UPnP Port Forwarding (UPnP ポート・フォワーディング) を参照してください。

工場出荷時設定への初期化

1. IP カメラから、イーサネット・ケーブルと電源を外します。
2. 下の写真のように、ジャンパー線の一方を端子ブロックの [Default (デフォルト)] に、もう一方を [GND (グラウンド)] に差し込みます。



3. ボタンを押したままにして電源ケーブルと Ether net ケーブルをカメラにもう一度接続し、システムが起動するまで約 30 秒待ちます。
4. カメラが処理を終了したらボタンを放します。
5. デフォルト IP (<http://192.168.1.168>) または DHCP、およびユーザー名 (admin)、パスワード (admin) を使用してカメラにもう一度ログインします。

トラブルシューティング

よくある質問と解決方法です。

問題	対処
FD1020 のアカウントとパスワードを忘れてしまいました。デフォルト設定に戻すにはどうすればよいですか？	「VI 工場出荷時の設定」についての説明のマニュアルを参照してください。
ビデオファイルを H.264 ファイル形式で録画しましたが、メディアプレーヤー (V.9) で再生できませんでした。	デフォルトの Windows メディアプレーヤーは H.264 デコーダーに対応しないので、ファイルを正常に再生できません。ビデオファイルを再生するには、前もって K-Lite プログラムをインストールするか、または、KMPlayer あるいは VLC プログラムをインストールしてください。これらの無料プログラムはインターネット上で検索できます。

付録

FD1020 は microSD/SDHC カードを内蔵ストレージとして使用できますが、良いの録画品質を得るためには下記 SD カードをご使用ください。

microSDHC カード
Transcend SDHC class4 32GB
Transcend SDHC class10 64GB
SanDisk SDHC class4 32GB
SanDisk SDHC class10 64GB

FCC(米国連邦通信委員会)に関する通知(クラス A)



本装置は米国連邦通信委員会(FCC)規則第 15 部に準拠しています。本装置の操作は以下の 2 つの条件を前提としています: (1) 本装置は有害な障害を引き起こさないこと、(2) 本装置は好ましくない操作結果を引き起こす可能性のある電波障害を含め、いかなる電波障害も容認しなければならない。

FCC 適合宣言

注意 — この機器はテストされ、FCC 規則第 15 部に基づくクラスAに準拠することが確認されています。これらの制限は、住居に設置した場合の有害な電波障害に対する適正な保護を提供することを目的としたものです。この機器は無線周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、取り扱い説明書の記載どおりに設置、使用しない場合には、無線通信に有害な電波障害を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置方法において電波障害が発生しないという保証はありません。この機器の電源をオン/オフに切り替えることにより、この機器が無線またはテレビの受信に有害な電波障害を引き起こしたことが確認された場合は、電波障害を修正するために次の対処方法のうちいくつかをお試しください:

- 受信アンテナの向きや設置場所を変える。
- この機器を受信機から離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路にコンセントを接続する。
- 販売店または無線機/テレビに熟達した技術者に相談する。

ITE(情報技術機器) クラスA

ITE(情報技術機器)クラスAは、ITE クラスAの制限に適合するが ITE クラスBの制限には適合しないすべての ITE として分類されるものです。この種の機器はその販売が制限されるものではありませんが、使用注意には以下の警告が含まれます:

警告 — 本製品はクラス A に分類されます。本製品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

EC(欧州共同体)に関する適合宣言(クラス A)



本製品は EMC(電磁的適合性)に関して欧州指令 2004/108/EC に準拠しています。

注意 — 本製品はクラス A に分類されます。本製品を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、電波妨害を修正するために使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

免責事項

本書に記載された内容、品質、性能、商品性、特定の目的に対する適合性については、明示的にも暗示的にも、いかなる保証または表明もいたしません。本書に記載された情報については十分に信頼性が確認されていますが、記載内容の誤りについては、一切責任を負いません。本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。

いかなる場合も、アバー・インフォメーション株式会社は、本製品または本書の使用あるいは使用できないことに起因する直接的損害、間接的損害、特別損害、偶発的損害、派生的損害について、そのような損害の可能性について告知されていた場合でも、一切責任を負いません。

通知

本書に記載された情報は予告なしに変更される場合があります。本書に含まれる情報は、あくまで参考用とみなされます。

警告

火事や感電の恐れがあるため、この機器を雨のあたる場所や湿気の多いところに設置しないでください。本パッケージに含まれる内容に損傷、不足、不適当なものがあつた場合、お住まいの地域の販売店までご連絡ください。本製品の不正改造を行うと保証の対象外となります。



× 印のついた車輪付きゴミ箱マークは、本製品が家庭ゴミとして破棄できないものであることを意味します。この機器を処分する際は、廃電気・電子機器リサイクル用の所定の収集場に引き渡す必要があります。リサイクル対象廃機器の引渡し場所については、家庭ゴミ廃棄サービスまたは本製品の販売店までお問い合わせください。

著作権について

© 2014 by AVer Information Inc. 著作権を所有します。本書のいかなる部分も、AVer Information Inc. 及び アバー・インフォメーション株式会社から事前に文書による許諾を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複製、送信、複写、翻訳、情報検索システムへの保管、翻訳することは禁止されています。

商標権について

AVer は AVer Information, Inc.の登録商標です。また、AVerMedia は AVerMedia TECHNOLOGIES, Inc.の登録商標です。

保証について

AVer Information, Inc. (「AVer」)は、該当する製品 (「製品」)が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上りの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または (b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、(b) 製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷による損傷 (そうした賠償は運送業者に請求しなければならない)、または (d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、または (b) 修理または交換した製品の出荷日から 30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電氣的、電磁氣的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗黙か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。